

第66号

2021年11月1日発行

TECA NEWS

NPO法人20周年記念誌



鬼怒川自然観察会風景



NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会

目 次

	ページ
1. 理事長あいさつ	理事長 塩山 房男 … 1
2. 祝辞	顧問 谷 博之 … 2
3. NPO法人20周年に寄せて	前理事長 安場 博 … 3
4. NPO法人20周年に寄せて	前理事長 近藤 和雄 … 4
5. TECAのあゆみ	
1) 技術・MG部の活動の歴史	副理事長 今井 信行 … 6
2) 鬼怒川の自然探勝会・自然観察会	自然保全活動部門長 塩山 房男 … 8
3) ホタル探勝会(自然観察会とホタル探勝会)	〃 塩山 房男 …10
4) 生物多様性保全の工場緑化	理事 曾我部二郎 …12
5) 田んぼ周りの生き物調査10年を振り返って	執行役 中荃 元一 …14
6) 見学会・交流会のあゆみ	副理事長 塩野谷ふじ子 …16
7) 地域SDGsのパートナーシップ	理事 斎藤 好広 …18
8) 家庭・中小企業に貢献する省エネを目指して	理事 野沢 定雄 …20
9) 環境学習会の開催・総会時の講演会	理事 安場 博 …22
6. TECA 会員だより	27
7. 各種資料編	
1) 令和元年度 事業報告書	37
2) TECA事業年譜 平成23年～令和2年	45
3) 役員の履歴	58
4) 各種表彰 受賞者一覧	60
5) TECA 会員名簿 2017年(2021年)、2011年	61
6) TECAとともに環境社会の道標	63
8. 編集後記	65



TECA20周年を記念して

理事長 塩山 房 男



NPO法人栃木県環境カウンセラー協会が20周年を迎え、会員皆様方のこれまでのTECAへの御協力並びに御努力について、深く感謝と敬意を表します。また、一口に20年、この年月の歴史と活動の実績を、記念誌を編纂することで顧みることが出来たこと、私にとっては貴重な財産と思っています。

私は、2008年4月に環境カウンセラーに登録され入会しました。法人化して7年目でしたが、当時の先輩諸氏の活躍には目を見張るものが多く、随分勉強させていただきました。特に、TECAとしての活動だけでなく、個人の専門分野での活動は皆さま幅広く、全国での活動、大手企業や自治体相手の活動など、高度な知識と高いスキルが無ければ出来ないことであり、敬服するばかりでした。

2011年3月11日に東日本大震災が発生し、それに伴う福島原発の未曾有の大事故により、世の中が騒然とする中、TECAではNPO法人化10周年を迎え、記念誌を編纂することになり、私も編集委員として10年間の歴史を振り返ることが出来ました。特に、事業部門ではISO14001支援、EMS支援、エコアクション21支援等、企業における環境管理の支援に関しては、当時の事務局長三浦氏の10周年記念講演で勉強させて頂きました。

2008年から、3代目理事長の近藤氏が引き継ぎましたが、TECAの活動は年々増加し、事務局担当者個人への負担が増加してきました。2010年に運営を4つの部門に分けて部門長を置き、執行役の制度も立ち上げ、役割分担制で個人への負担を少なくしました。私も執行役になり、2012年からは理事並びに自然保全活動部門長として、自然観察会関係など、楽しい思い出が沢山出来ました。

近藤理事長在任後、2014年から安場理事長が引き継ぎ（私は副理事長に就任）しましたが、近藤氏同様聡明な方で、活動の切り盛りが上手で、各種場面での采配に感服したものです。2012年に、東芝社の工場内生物多様性プロジェクトが市川理事の指導で始まり、その中で安場理事長の指導と曾我部理事の事務局運営により、現在のキャノン社と連携した事業展開に発展してきたことは、高く評価されます。

2015年9月、国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、複数課題の統合的解決を目指し“持続可能な開発目標”いわゆるSDGs;17のゴールと169のターゲットが定められました。

私が、理事長職を引き継いだのは2018年ですが、当時環境省からSDGsの普及を環境カウンセラーの責務として取り組むよう依頼がありました。当時はSDGsて何?という方が多く、講演会でのアンケート調査結果でも2割しか認識していませんでした。公害問題や農薬問題など対立関係にあった各種環境問題がルーツであり、今後は地球温暖化防止を含め環境問題を協働で取り組むのがSDGsです。TECAとしてばかりでなく、個々人としても取り組むべきこれからの課題と確信し、時期尚早との意見もありましたが2019年2月、県内で他に先駆けて講演会を開催し、普及・啓蒙を図りました。

その後、多くの組織でも取り組みが始まり、TECAにも数件の講師依頼のオファーがありました。新型コロナ蔓延のため多くの集会が中止になり、大半が無くなりました。国が2050年までに脱炭素社会を掲げた現在、また講師要請が増えてきました。TECAとしては、現在の活動をSDGsに位置付けし、未来の子供たちに残すべきものは何なのか、環境カウンセラーとして出来ることは何なのか、共に考えながら17.パートナーシップで各種目標を達成する先導的活動が責務であり、新型コロナ対策を実施しつつ、我々の知識を最大限発揮して活動していきたいと思えます。共に頑張りましょう。

20周年を迎えて、更なる発展を！

顧問 谷 博 之



コロナ下、制約の多い中で、20周年の大きな活動の節目を迎えられた「栃木県環境カウンセラー協会」の皆様。心から祝意を申し上げます。

環境カウンセラー制度が発足する時、世の中の動きは、今以上に環境に対する国民の意識が高揚する中で、企業ではISO14001の取り組みや、国や地方自治体でも、地球温暖化対策としての京都議定書の実行を巡って、活発な議論が展開された時期でもありました。そして、排出量（CO2）の削減を巡っては、国家間の取引や大きな環境ビジネスが、国際的にも行われようとした時期でした。

私も当時、政権与党となった民主党の1国会議員として、参院環境委員会の与党側の理事を務め、これら施策の推進のため、日夜努力していたところでした。そうした時期に、地球温暖化現象によって、海面上昇の危惧に直面する南太平洋フィジー、ツバルを訪れ、ODA活動と連携させて、海面上昇対策として、流入を阻止するための防波堤の設計などに力を注いだことを、今でも覚えています。

その後、私は任意の制度をもっと強くしたいという思いもあって、環境カウンセラーの国家資格化を目指す取り組みを模索しました。国としても責任ある活動を保障していくためには、その役割が何よりも法律によってしっかり裏付けられ、保障されたものでなければならないし、今まさにその時にきていると思いました。

ところが、他にあるあまりにも多い国家資格の数を、逆に削減していこうという動きに呑み込まれ、ついにこの構想は実現しませんでした。そして環境省（庁）は、政府部内での力が他の省庁と比べて非力だったのです。少ない予算と人員によって、やっとのことで環境の火をともし続けている存在では、「環境」という言葉が時代の花形であったにもかかわらず、現実とはとても厳しい実態でありました。

そうした夢を追い続ける創世期を経て、今や民間レベルで市民の中から、それぞれの環境分野で、実践を推し進める活動家の人達が沢山生まれてきました。この分野ほど裾野の広い分野はありません。それほど環境分野は私達人間にとって避けて通れない重要な分野であることが解ってきたのです。

「カウンセラー」とは「個人が当面する諸問題すなわち学業、職業、対人関係または精神上、保健上の諸問題について相談に応じ、適切な指導助言を与える専門家、相談員、指導教諭」と広辞苑にはあります。行政とも勿論関係を持ちつつも、民間の自由な立場から、実践研究を通してたとえ法的権限がなくても、真剣にこうした活動を積み重ねていけば、必ず他に及ぼす波及的効果は、極めて大きいと思うのです。20年とは、そうした活動の実績を積み上げてきた道のりでした。

栃木県環境カウンセラー協会に蓄積された経験とその専門的な知識は、既に高く評価され、周りに大きな影響を与え今日に到っています。

どうか、これからも、自由な立場から研究活動を展開し、明確にアドバイスや提言の出来る専門家集団として、尚一層貴組織が発展されますよう心からご祈念し、お祝いいたします。

NPO法人20周年に寄せて

4代目理事長 安 場 博



私は、平成26年（2014年）第13回通常総会で理事長を承認され、平成30年（2018年）第17回通常総会で退任するまでの2期4年間（法人登記上では2014年7月1日から2018年6月30日の期間）、NPO法人栃木県環境カウンセラー協会の理事長を勤めさせていただきました。初代理事長栗原貞夫氏、2代目理事長佐藤孝二氏、3代目理事長近藤和雄氏の後を受けての4代目理事長として就任しました。現在は5代目理事長塩山房男氏です。

就任時に、会員の皆様に「3つのお願い」ということを発信させていただきました。①月次の定例会に出来るだけ出席をお願いしたい。②定例会で実施する「環境学習会」で講師を務めて頂きたい。③TECANEWSへの投稿をお願いしたい。の3つです。私の任期中、環境学習会は27回開催されています。12名の方に講師を務めて頂きました。TECANEWSは14回発行されました。途中52号までは三浦四郎会員に、53号からは塩野谷ふじ子会員に編集長をお願いし、それぞれ特色のある立派なTECANEWSを編集して頂きました。本当に有難うございました。私の理事長在任中に経験豊かな三浦事務局長が退任交代いたしました。私にとっては残念ではありましたが、ボランティアが中心の組織では仕方のないことだと思っています。三浦さんには、2004年から事務局長に就任していただき、行政との関係構築・届け出、各種行事の開催など協会の運営の基礎を作って頂きました。長い間有難うございました。

私は組織の代表を勤めるのは初めてであり戸惑うことも多かったのですが、理事長就任を機に、栃木県県民生活部県民文化課発行の「特定非営利活動促進法の手引きNPO法人編」を勉強しました。NPO法人とはどのようなものかを理解するのに大変役立ちました。我々はそのような法律や定款に従って活動しているのだと思っています。また、エコキーパ事業所認定審査委員や宇都宮市都市交通戦略推進懇談会の委員に就くなど組織の代表としての職務も経験させていただきました。これからそれほど先の長い人生とはなりません、いい経験をさせて頂いたと思います。私は理事長として特に新しい事業を計画・実施はしておりません。今までの事業の継続を中心に運営しました。会員の皆様にとって良かったのか悪かったのかよくわかりませんが、現在はSDGsなど新しい取組が始まっています。

NPO法人などの非営利組織では、高齢化や退会などで設立当初中心となった創業メンバーの活動が低下してくると、組織全体の活動も不活発となり、消滅していくこともあるようです。栃木県環境カウンセラー協会は、NPO法人設立時の役員（理事・監事）12名の内、現在残っている会員は2名です。既に故人となられた方や年齢の関係で活動が出来なくなったので退会された方が大部分ですが、当初の目的は更に発展し、20年の長きに渡って継続しています。若い会員が入会し「SDGs」などの新しい取組みが始まっています。今後の協会を担う若い方には是非理事職や理事長職を引き受けて協会の発展に寄与して頂きたいと思っております。

NPO法人20周年に寄せて

3代目理事長 近藤和雄



栃木県環境カウンセラー協会（略称：TECA）は、国の環境カウンセラー制度に基づき登録された栃木県内の環境カウンセラー（事業者部門・市民部門）の有志が集まり、1998年に「専門的な知識を少しでも社会に役立てたい」との目的で任意団体を結成し、環境保全活動の取組みを開始しました。結成に向けた有資格者間での話し合いの中で、今後の環境問題への取組みについては、事業者部門と市民部門の対立構造の形は好ましいことではなく、県内での環境問題への取組みについては“一体化”して行おうとの共通認識に至りました。

任意団体として活動を開始した後、NPO法の施行初年度の2001年に特定非営利活動法人として認可され、初代理事長に栗原貞夫会員が、2代目理事長に佐藤孝二会員が就任し活動を進めてきました。だが、2007年度途中に、県外に単身赴任中の2代目の佐藤理事長が病に倒れたことで、当時副理事長職の小生が急遽理事長代行として執行に当り、その翌年の2008年から6年間にわたり3代目の理事長職を担いました。

理事長職を引き継いだ時点では、環境分野のみならず、多様な分野に及ぶスキルを持つ会員による自主的な取組みが数多く展開されていました。それらの活動におけるTECA組織外部と内部の事務管理業務については、会員自身が他団体の役員・活動メンバーと重複していることで多忙を極めていることもあり、事務局長が一手に背負っている状態でした。そこで、会員各位と約1年間に亘った協議の結果、率先して活動に取り組む会員のモチベーションに依存気味の体制を見直すこととしました。まずは取り組む事項毎に責任者と会員の役割分担を明確化し、次の段階として事業区分の仕分けによる“部門制度”としての組織化を図り、2010年には、より充実した取組みへ向け“執行役制度”の導入を行い、NPO法人活動の活性化に取り組みました。

また、環境保全分野での継続した活動を行うNPO法人としての次なる10年後の飛躍に向け、環境省が策定したEA21や国際規格のISO14001の取得・更新支援、地方自治体が策定の環境マネジメントシステムへの支援、中小企業へのCO2削減への取組み支援等々への強化に取り組みました。いずれの活動も様々なステークホルダーの方々との連携が必要なことから、栃木県を始めとする各市町村・各商工会議所・県内の各企業、及び環境団体等との連携に努めました。

さらには、当会が主体となってシンポジウム・学習会・研究会・環境保全活動等を展開し、他の環境保全活動団体等のイベントにも参加するとともに、環境分野における公的な委員にも参加するなどしてきましたが、その際には多くの皆様方にご協力いただいたことに感謝の念に堪えません。

なお、会員による日頃の活動が評価され、2008年には“とちの環県民会議”から環境保全活動への貢献により「環境活動団体表彰」を、2012年には栗原貞夫・葛谷理子の両会員が地域環境保全の功労者として、環境大臣表彰の栄誉を賜ったことも嬉しい思い出です。

TECAのあゆみ

1) 技術・MG部の活動の歴史	副理事長	今井 信行	6
2) 鬼怒川の自然探勝会・自然観察会	自然保全活動部門長	塩山 房男	8
3) ホタル探勝会（自然観察会とホタル探勝会）	〃	塩山 房男	10
4) 生物多様性保全の工場緑化	理事	曾我部二郎	12
5) 田んぼ周りの生き物調査10年を振り返って	執行役	中荃 元一	14
6) 見学会・交流会のあゆみ	副理事長	塩野谷ふじ子	16
7) TECAが推進したい学びと体験を通した 地域SDGsのパートナーシップ	理事	斎藤 好広	18
8) 家庭・中小企業に貢献する省エネを目指して	理事	野沢 定雄	20
9) 環境学習会の開催・総会時の講演会	理事	安場 博	22

技術・MG部の活動の歴史



副理事長 技術・MG部門長 今井 信 行

技術・MG部の活動内容は、大きく2つの柱があり、1つは、環境省が推進する国内版の環境マネジメントシステム（以下、EMS）である「エコアクション21」（以下、EA21）を普及することです。

EA21は、国際的な環境マネジメントシステムである「ISO14001」規格を簡素化した国内版規格です。

もう1つの柱は事業者在省エネルギーの技術を広めることです。省エネルギー技術は野沢定雄、中井喜一郎会員等が各種の講習会を通じて沢山の事業者を指導してきました。

ここでは、EA21の普及活動の歴史を報告いたします。活動は、事業者にEA21を普及する活動とEA21の審査員の力量向上を図る活動の2つの側面があります。

【EA21普及セミナー、EA21自治体イニシアティブ・プログラムの支援】

事業者への普及活動は、地域事務局とちぎが主催し年1回開催する「EA21普及セミナー」です。このセミナーは、初めてEA21を勉強する事業者に、EA21の概要を説明して理解を深めて頂くものであり、栃木県環境カウンセラー協会（以下、TECA）所属の審査員が、地域事務局とちぎを支援して毎回講師を務めてきました。また、本格的にEA21の認証登録に取り組む事業者を対象に、EMSの構築を詳細に指導する「EA21自治体イニシアティブ・プログラム」を、栃木県環境森林部と地域事務局とちぎが主催し、TECAが共催で毎年実施して多くの審査員が講師を担当してきました。ここ10年間の活動実績は下表の通りです。

実施年度	エコアクション21普及セミナー		エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム	
	実施年月日	参加社数	実施年月	参加社数
2020(R2)	コロナ禍で中止	—	2020.11～2021.2に4回	6社
2019(R1)	2019.10.10	5社	2019.11～2020.2に4回	4社
2018(H30)	2018.10.11	9社	2018.11～2019.2に4回	5社
2017(H29)	2017.10.12	7社	2017.11～2018.2に4回	5社
2016(H28)	中止	—	中止	—
2015(H27)	2015.9.2及び3	22社	2015.11～2016.3に4回	6社
2014(H26)	2014.9.3及び4	23社	参加者減少で中止	—
2013(H25)	2013.9.4及び5	21社	2013.10～2014.3に4回	11社
2012(H24)	2012.9.20及び21	30社	2012.11～2013.3に4回	11社
2011(H23)	2011.9.6及び7	20社	2011.10～2012.1に4回	12社

秋場、今井、岡崎、佐々木、曾我部、中井、堀、三浦、安場、吉田、渡邊審査員が講師を担当しました。

【エコアクション21ガイドライン:2017年版の説明会の支援】

ISO14001の規格（2015年版）改正に伴い、EA21もガイドラインが改訂されました。認証取得済み事業者を対象に改訂されたガイドラインの説明会を、地域事務局とちぎが主催（EA21中央事務局が共催）し、我々TECA所属審査員が講師を担当して支援しました。説明会の内容は下表の通りです。

実施年度	実施日	適用2017年版業種別ガイドライン	参加者数	担当講師
2018	2019.3.26	建設事業者向けガイドライン	14社(17名)	今井、中井
2017	2018.2.16	一般事業者向けガイドライン	48社(73名)	今井、渡邊

○食品関連事業者向け及び産業廃棄物処理事業者向けガイドライン説明は中止となりました。



(EA21普及セミナーの光景)



(自治体イニシアティブ・プログラム光景)



(2017年版ガイドライン説明会)

【地域事務局とちぎ主催のエコアクション21審査員力量向上研修会（中央事務局認定）の支援】

中央事務局認定の審査員力量向上研修会は、審査員資格更新の要件であり、2012年度から開始されました。

2016年度以前は中央事務局認定の栃木県内で行う研修会は無く、審査員は他県で開催される中央事務局認定の研修会に参加していました。ただ県内では地域事務局とちぎとTECAが共同で2時間程度の研修会を年に1回実施していました。しかし、2017年度から地域事務局とちぎ及び地元審査員が経験を積み、栃木県内でも中央事務局認定の力量向上研修会ができる様になりました。TECAでは、地域事務局とちぎに協力して講師の選定やワークショップのコーディネーターとして研修会を支援してきました。

審査員の外部組織での活躍としては、安場審査員が2005年9月～2013年3月まで地域事務局とちぎの判定委員長を務め、また、今井審査員が2021年4月からEA21中央事務局内の「EA21地域事務局アドバンスLab」の判定委員を担当しています。

各年度の研修会参加者数は2017年度12名、2018年度10名、2019年度11名、2020年度12名です。

【栃木県内自治体の環境マネジメントシステム外部監査の実施】

宇都宮市のEMS外部監査は、2007（H19）年度から始まり、当初はISO14001に基づく監査でありましたが2018（H30）年度から宇都宮市独自のEMS（もったいないEMS）監査となりました。2017年度は、今井審査員が宇都宮市の「もったいないEMS」の構築を支援しました。

栃木県庁の外部評価は、小林会員が長年にわたって評価委員長を務め、栃木県庁のEMSの浸透・定着に大きく貢献してきました。

宇都宮市役所のEMS外部監査は、2011年度から2018年度までは今井と黒崎審査員が、2019年度から2020年度は今井と佐々木審査員が担当しました。

また、栃木県庁のEMS外部評価は2011年度から2015年度までは小林と今井審査員、2017・2018年度は小林審査員、2018年度は小林と秋場審査員、2019・2020年度は小林と秋場、堀審査員が担当しました。



（審査員力量向上研修会の光景:全員マスク）



（宇都宮市役所のEMS監査後に佐藤市長を囲んで）

【環境審査員CPD1日コース研修会の実施】

ISO14001規格の審査員（補）資格維持に必要な環境技術専門性のCPD（継続的能力開発）研修会を2007（H19）年～2019（R1）年の間、TECAの審査員が相互に講師を務め実施してきました。1日5時間の研修では主に環境関連法規に関する勉強を実施し、審査員の審査能力向上に繋がっています。2020年以降は新型コロナウイルスの影響で中止しました。

【この10年間の振り返り】

2021年8月末現在、全国のEA21認証登録の件数は7496件で、その内栃木県内の認証登録件数は94件（全体の1.3%）、認証登録件数は、全国・県内共に全体として停滞気味なのが現状です。しかし、地球環境の保全、持続可能な社会の構築の為に、事業者にとって環境経営はこれから益々重要になって来ます。我々EMS審査員は、EA21の普及を通じて今後も事業者の発展を支援していきたいと考えています。

また、栃木県内のEA21審査員の人数は、2021年8月末現在で審査員12名、審査員補3名。12名の審査員のうち10名がTECA所属の審査員であり、TECA会員がEA21の普及に大きく貢献していることがうかがわれます。審査員も高齢化が進み70歳代が多くなりましたが、これからも若い審査員を育成し事業者の皆様のお役に立ちたいと思っています。

鬼怒川の自然探勝会・自然観察会



理事長 自然保全活動部門長 塩山房男

1) 鬼怒川の自然探勝会

環境カウンセラー制度には、事業者部門と市民部門の2つに分かれています。鬼怒川自然観察会は、「環境に関する講演会・イベント等の企画開催事業」の中で一般市民を対象に、市民部門の目玉事業として開催されて来ました。TECAは、1998年（H10年）6月に設立しましたが、その次の年1999年から、「鬼怒川の自然探勝会」として初めて開催されました。鬼怒川の動植物について「見て、聴いて、触って、感じる」をテーマに、自然探勝会と河川内のゴミ拾いを行い、その後は暖かい豚汁を食べながら、今日見た植物や動物、どうすれば環境を守り・保全出来るか考えることを目標に実施して来ました。

場所は、鬼怒川ふれあいビーチで、陸地・林地コースと水辺コースの2班に分かれて実施して来ました。主催は当協会ですが、栃木県、宇都宮市、国土交通省下館河川事務所から後援を頂き、また日本昆虫倶楽部の参加も得て、毎年盛大に開催し、1999年から2011年まで13年間（2004年が雨で中止）で計12回開催されました。

専門のスタッフは、昆虫・植物全般に市川カウンセラー（以下Cと略す）が、鳥では堀C、佐々木C、荒木Cが、魚や水生動物には市川C、秋場C、中荃C並びに下館河川事務所職員、2009年からは塩山Cも参加しました。なお、日本昆虫倶楽部の末本氏他も昆虫関係の指導に応援に来ていただき、子供たちには極めて充実した講師陣で実施出来ました。子供たちからは満面の笑みが頂けましたし、親達からも子供と一緒に昆虫採集や魚とりなど生き物探勝が出来て、素晴らしい企画と絶賛されました。

一方、三浦事務局長始め事業部門スタッフ並びにお手伝いの奥様方は、大勢の参加者への芋煮会の料理当番にあたり、探勝会が終了するお昼までに大鍋で作って頂きました。お昼には、熱々の豚汁をほおぼりながら、今日観察できた生き物の話や水質と川の生き物の話、河原には外来種の植物が激増している話、鳥の鳴き声の話など、生物多様性の課題を話しながら一般参加者との懇談を図りました。



（大鍋で作る芋煮は美味しい）

なお、一般参加者は、1999：30名、2000：40名、2001：雨中止、2002：90名、2003：68名、2004：雨中止、2005：50名、2006：50名、2007：73名、2008：41名、2009：50名、2010：35名、2011：30名、13年間の間に11回で延べ550名以上の参加結果となりました。

2) 鬼怒川自然観察会

鬼怒川の自然探勝会が13年続き、新たな活動の展開を模索していました。そんな時、現在の副理事長である今井Cの住む平石地区では、柳田の河川敷に繁殖する「カワラノギクを守る会」が2012年（H23年）に発足し、地域の有志（当初24名）で保全活動を開始しました。保全地の河原には、外来種であるシナダレスズメガヤが大量に侵入し、礫河原特有のカワラノギクを始め、ミヤコグサ（絶滅危惧種シルビアシジミの食草）、カワラヨモギ等の貴重な在来植物を駆逐するほど繁茂、この雑草防除が大きな目的です。その結果、見事に



（カワラノギクの花）

咲き誇るようになり、多くの人にも見てもらいたいと満開になる10月下旬に、サイクリングと花見を

しながら豚汁を振る舞う活動を企画しました。サイクリングは宇都宮ブリッツェンの応援もあり、石井大橋～柳田大橋間の堤防サイクリングロードを一周する企画で、家族連れに高い評価の企画です。今井Cからは、折角鬼怒川の河川敷で実施するので、サイクリングだけでなく、植物や昆虫などの陸上の生き物、鬼怒川に住む魚・水生動物などの観察会も出来たらとTECAにお誘いがありました。

そのため、守る会とTECA並びにとちの環県民会議清流部会との共催で、朝のサイクリングは地元中心で開催、10時からは陸上の生き物と水生動物全般を観察する企画が始まりました。



(陸上の昆虫は高橋先生・市川C)

開催場所は、柳田の「川の一理塚」東側の保全地の周辺で生き物観察会に最高のロケーションがあったため直ぐに決定しました。



(鬼怒川の水質は！佐々木C)

2年目の2013年に台風26号が関東に接近し、観察会は中止。2015年の関東・東北豪雨では、鬼怒川が大きく増水し、下流の茨城県で鬼怒川が氾濫しました。保全地も増水により大半が押し流されましたが、下館河川事務所の計らいで、礫河原に再整備してもらいました。

なお、その時の増水で、保全地の東側に、鬼怒川本流から小さな浅い支線が誕生し、この場所が子供たちには極めて安全な水遊び場となり、魚や水生動物の良好な観察場所に生まれ変わり、増水後の鬼怒川の生き物の変化というテーマで、陸上の生き物を含めた観察会を企画することが出来ました。



(小さな支線流は子供に安全)

一方、平石地区には、柳田緑地のクロコムラサキを守る会もあり、地域の自治会等を含めて、2015年にはこれら団体が統合して「鬼怒川の自然に親しむ会」となり、その後はこの会との共催という形になりました。また、宇都宮市の後援や下館河川事務所石井出張所の支援も受けて開催しています。

専門スタッフは、TECA会員6名に加え、クロコムラサキを守る会から高橋先生が陸上昆虫のエキスパートとして、また、栃木県博物館からは南谷先生も加わり、子供たちが大勢参加しても十分満足して頂ける企画になりました。なお、魚はホトケドジョウ、スナヤツメ等の希少種を含めて10種程度、その他水生動物ではタガメやミズカマキリ、スジエビ等20種程度、陸上昆虫はバッタ類、トンボ類などが30種程度毎回観察でき、子供たちの喜ぶ顔は最高です。観察会終了後は、地元自然に親しむ会が作ってくれる豚汁とその年の新米で作ったおにぎり、お新香等をお代わり自由で堪能します。

最近では、SDGsの目標の中で、生物多様性・生態系保全活動として15：陸の豊かさを守ろうに加え、水質調査から水質汚濁防止啓蒙による14：海の豊かさを守ろうを目標にしています。

一般参加者は、2012：約80名、2013は台風で中止、2014：約110名、2015：約140名、2016：約175名、2017：雨中止、2018：約140名、2019：約190名、2020はコロナで中止、6回の開催で、合計延約835名の参加が得られました。



ホタル探勝会 (自然観察会とホタル探勝会)



理事長 自然保全活動部門長 塩山房男

1) 鹿沼出合いの森でのホタル探勝会

ホタル探勝会は、当協会の「環境に関する講演会、イベント等の企画開催事業」の中で、2006年（平成18年）に初めて開催されました。鹿沼市の出合いの森キャンプ場に集合し、午後3時半から大芦川と支流の荒井川が合流する地点で、川の魚や水生動物、植物や鳥、昆虫等の生き物観察会を実施しました。

6時からはTECAスタッフの作ったおでんとおにぎりで夕食を取りながら、観察された生き物や生物多様性、ホタルの話など、参加者との懇談を実施しました。ホタルが光り始める8時には、大芦川の堤防沿いに沢山のホタルが乱舞、探勝する企画です。主催は、鬼怒川自然探勝会と同じく、とちの環県民会議清流部会と当協会、鹿沼市や大芦川漁業組合、日本昆虫倶楽部等の協力を得て開催しました。

第1回は、2006年6月16・17日の1泊2日で開催され、夜まで賑やかに生き物談義で盛り上がりました。2007年からは、1日だけの開催となり、2012年まで6回（2008年は雨で中止）開催されました。

スタッフは、進行係が市川カウンセラー（以下Cと略す）、その他専門スタッフは鬼怒川自然観察会と同じメンバーで開催してきました。なお、大芦川漁業組合の協力で投網体験も実施され、アユやウグイ、オイカワ、ヤマメなどたも網では取れない魚を始め、子供たちはたも網でカジカやドジョウ、希少種のスナヤツメ等を捕獲し大喜びでした。また、きれいな河川に住むカワゲラやカゲロウ、トンボの幼虫ヤゴ等30種以上が捕獲でき、子供たちから初めて見たとの声もあり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



(投網体験ではアユやウグイが!)

おでんを囲んでのティーチンでは、ゲンジとヘイケホタルの違い、関西と関東のゲンジボタルは発光間隔が異なることや保全活動などについて、子供たちにも解りやすい解説で盛り上がりました。大芦川は、生物学的並びに化学的な水質調査結果では、きれいな水域に判定され、この豊かな自然を残していくことの大切さ、保全することの重要性も懇談出来ました。



(明るい内にホタルの話)

最後に参加者全員で、ホタル乱舞する大芦川堤防沿いで、小さな声で歓声を上げ、ゲンジボタルの不思議な光に魅せられる1日を過ごし、子供たちには良い思い出となったことと思います。

6回の参加人数は、2006：50名、2007：26名、2008：中止、2009：99名、2010：57名、2011：57名、2012：50名、合計約340名。探勝会がニュースになり、2010年以降はホタル探勝客で一杯でした。



(ゲンジボタル)

2) 那須烏山市横枕地区での自然観察会とホタル探勝会

那須烏山市の南東部の横枕地区では、小木須川沿いにホタルが沢山乱舞し、地元の人だけで観蜉会を開催、また、ホタル保全のための勉強会を、当協会の中茎C、塩山Cの支援で実施していました。

一方、全国的にも数少ない青年団活動が行われており、横枕地区の活性化を図る目的で、外部の人たちを呼び込んでのホタル探勝会を企画しました。また、TECAが協力してくれるなら、ホタルが住む小木須川の生き物観察会も実施したいとの希望が寄せられ、2013年から、主催が横枕青年団、

TECAは共催、協力者として婦人会、青年団の親世代のサポーター会、後援として横枕ふれあいの郷づくり協議会、那須烏山市教育委員会で開催することになりました。



(生き物観察会)



(これはホタルの餌のカワニナだよ)

夕方4時から開会式があり、あいさつの後オリエンテーション、鳥や植物の観察、更に小木須川の生き物調査、6時からは青年団の作る焼きそばや唐揚げ、婦人会の作ったおにぎりなどで夕食を取り、8時からはホタル探勝会を実施する日程です。夕食の時には、青年団が企画したお笑い芸人、演歌歌手、ケーナの演奏、お囃子の演奏などのイベントが催され、また自然観察会で見つかった生き物の話やホタルの話、保全活動などについてTECAで説明しました。

開会式には、毎年那須烏山市長始め、地域の国・県・市の議員先生方も来賓として応援に駆け付け、賑やかなイベントとなっています。自然観察会的小木須川には、ホタルの餌になるカワニナはすこぶる多く生息しています。水温も低く、湧き水が多いため、水質は良好なのですが、



(ヤマカガシがいたよ)

那珂川に到るまでに多くの堰や砂防ダム堰堤があり、上流から下流まで往来する魚類は確認できず、カワムツ、ドジョウ、ホトケドジョウ、カジカ等魚種は少ない川です。なお、青年団サポーター会では、子供たちが安心して採集出来るように、採集場所の草刈りや、わたり板の設置をして頂くほか、事前にウケを掛けておいて、手のひら大の大きなモクズガニやドジョウ、さらに絶滅危惧種になっているゲンゴロウやアカハライモリ等を捕獲しておいて頂けました。



(水質は少し汚れたきれいな水域です)

一方、子供たちが採集する水生動物類は、種類は少なくとも魚の数は多く、また、清流性のサワガニ、スジエビ、ヌカエビの他、カワゲラ、カゲロウ、トビケラ類、また河川が安定しているためにオニヤンマやコヤマトンボ、サナエトンボの仲間などトンボ類だけでも10種、毎年35種以上の生き物が確認できます。子供たちにとっては初めて見る生き物ばかりで、捕まえるたびに歓声が上がり、元気な子供はずぶぬれになりながら楽しみ、開催出来て良かったと毎回感じていました。

8時になるとゲンジホタルが小木須川沿い並びにその支流に舞い始め、子供たちも「わー綺麗、光ったよ、手に止まったよ」と小さな声で歓声を上げ、満面の笑顔の日になったことと思います。

観察会参加者は、2013：約100名、2014：約150名、2015：約170名、2016：約145名、2017：約150名、2018：約130名、2019：約117名、2020：コロナで中止、合計延：約960名の結果です。



(絶滅危惧種のゲンゴロウ)



(全員集合 魚捕るぞ!)

生物多様性保全の工場緑化

「キヤノンメディカルシステムズ(株)のいきものと共存した企業づくり」

理事 曾我部 二郎

栃木県大田原市に位置するキヤノンメディカルシステムズ(株) (CMSC) 那須事業所は、那須野が原の恵まれた自然環境のもと、「いきものと共存した企業づくり」をコンセプトに掲げ、従業員や地域の方と連携した生物多様性の保全活動の「CMSC生物多様性推進プロジェクト」を行っています。

★生物多様性推進プロジェクト

2012年にスタートした「CMSC生物多様性推進プロジェクト」は、市川恭治カウンセラーの指導でNPO法人栃木県環境カウンセラー協会が支援で始まりました。CMSC生物多様性推進プロジェクトの成果は、那須事業所及び周辺のいきもの調査で、現在までに栃木県レッドリストで絶滅危惧種や準絶滅危惧種に指定されているハヤブサ、オオタカ、サシバ、ケリなどの鳥類59種とオオムラサキ、ウラギンスジヒョウモンなどの蝶類64種を確認しました。2018年度以降、キヤノングループが進める「キヤノンバードブランチプロジェクト」は、鳥類相調査(春・夏・秋・冬)と巣箱の活用調査を行っています。

■主な活動

★「いきもの観察会」の実施

「いきものとの共存した企業づくり」を実現させるため、まずは、従業員が生物多様性保全活動の大切さを理解する必要があります。CMSC工場内及び周辺にどのようないきものが生育しているか体験してもらうために、2013年から、従業員とその家族を対象とした「いきもの観察会」を毎年行っています。



(水生生物の観察)



(第5回いきもの観察会)



(第6回いきもの観察会)

★構内緑地の改善活動

2014年、「生物多様性に配慮した緑地」と「従業員の安らぎの場」を作りました。工場内西側の芝生地1万㎡に、「春に花を楽しむゾーン」、「秋に紅葉を楽しむゾーン」、「緑を楽しむゾーン」の3ゾーンに3000本の苗木を植樹し、地域の自然と一体となった雑木を中心のエコロジー緑地をつくりました。

「いきもの観察会」の後には、緑地を補正するため参加者の家族で植樹活動も実施しました。実がなり、小鳥が訪れ、樹液が虫を引き寄せる、生物多様性に配慮した樹木を植えました。

造成緑地は、いきものと共存しつつ、四季を通して景観を楽しめるエコロジー緑地を目指しています。



(苗木の植樹活動)



(CMSC構内のエコロジー緑地)

★キャノングループが進める「キャノンバードブランチプロジェクト」活動

鳥類調査は、年度計画に基づいて荒木淳一カウンセラーの協力で行っています。四季（春・夏・秋・冬）の鳥類相調査は、那須野が原の恵まれた自然環境のもとでハヤブサ、オオタカ、サシバ、ケリなどの鳥類53種が生育していることを確認しました。

2012年に、オオタカの繁殖場所が那須事業所の周辺にあることが特定できたため、オオタカの生息状況の調査をしています。オオタカは生態系の頂点にいる鳥類です。オオタカがみられるということは生態系のバランスが整っており、自然豊かな環境がある証でもあります。

オオタカ、ケリの繁殖と4個の巣箱は、継続して調査しています。



(オオタカの幼鳥と巣)



(ビオトープに設置した巣箱)

★蝶のビオトープの造成

生物多用性保全活動の一環として、蝶をテーマとする取り組みも行っています。2015年に、構内の赤松林の跡地に、蝶が好む苗木を植樹し、蝶などの生物が生育できる蝶のビオトープを造成しました。蝶のビオトープの南側には、バラ15本を植樹し、バラを好む蝶が訪れる場所とともに、従業員の憩いのスペースを設けました。



(ビオトープ緑地生物が沢山生存)



(管理のため時々訪れます)

田んぼまわりの生きもの調査10年を振り返って



田んぼ周りの生き物調査執行役 中 茎 元 一

はじめに

多面的機能支払交付金事業（旧農地・水・環境保全対策事業）は、平成19年度に国の非公共補助事業として発足して現在に至っています。この制度は国土保全機能としての農村が、高齢化や農作物単価の低迷等により保全できなくなることを食い止める施策として開始されたものです。

当初は活動の柱が基礎部分、農地水向上活動、農村環境向上活動であり、生きもの調査は農村環境向上活動の1項目でした。国の指導では生きもの調査も地元で選択できるものとして任意でしたが、栃木県では義務付けがされました。この義務付けは全国的にみても稀有であります。

この義務付けは平成25年度まででしたが、現行制度でも多数の地区で実施されており、この活動の有用性が認められています。今回はこの10年間の活動を振り返りながら、今後に向けてのアドバイザーの在り方等も探ってみます。

1. 生きもの調査の必要性とその指導戦略

栃木県農地・水・環境保全向上対策協議会（以下協議会と表示）発行の「田んぼまわりの生きもの調査」の手引き（平成24年版）には、「現在は経済的な豊かさや物の豊かさが優先され、生きものをはじめとした地域の環境やこれに密接に関連した地域の生活に対する関心が、いつのまにか薄らぐとともに、世代間の交流が少なくなってきました。…中略…地域の人々が自分たちの住む‘場、に対して‘まなざし、を向けながらもう一度見直していくことが大事です。その手段の一つとして生きもの調査があるのです。」と記しています。それとなによりも素晴らしいことは、義務付けした県の上層部から担当者までが、農村の二次的自然体験が、子ども達の生育過程で極めて重要であることを十分認識していたことです。これは他県に類を見ないことです。

又それを推進するための指導戦略として「生きもの調査アドバイザー」の活用です。県内に広く募集をかけ多くの方の応援を得られましたが、環境カウンセラー協会としても6名が応援しています。

2. 10年間の活動状況（資源向上型）

① 活動組織の推移

（単位：市町、組織、ha、%）

	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017 (A)	H30 2018 (B)	増減 (B)-(A)
市町村数	28	29	29	26	26	25	25	23	23	23	22	22	0
活動組織数	266	371	375	378	378	332	318	296	323	323	306	296	▲10

※1 H19(2007)～H22(2010)は、『農地・水・環境保全向上対策』、H23(2011)～H25(2013)は、『農地・水保全管理支払交付金』における共同活動支援交付金の取組組織数を参考として記載

② 当会のアドバイザー受託件数の推移

当会では平成21年度から受託を開始しているがその推移は下表の通りです。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
会員	6	6	6	4	6	5	6	5	6	6	5	4	3
件数	29	26	26	12	20	17	21	20	21	22	21	7	4

③ アドバイザー受託に関する諸事項

多面的機能支払い交付金事業「田んぼまわりの生きもの調査」を実施するにあたって、現場対応が人によってバラバラでは混乱を招くため、担当者と相談しガイドラインを作成しました。(抜粋)

- 調査指導内容は、
- ・生きもの調査の意義と調査方法や調査時のリスクマネジメントの説明、
 - ・捕獲した動植物の同定及び数の把握、説明及び写真撮影、環境度（原因と保全方法や改善策も含めて）の説明、
 - ・地元の古老やリーダー・参加者（子供含む）の感想等の聞き出し、
 - ・エコアップ活動の助言「水田魚道等」
 - ・生きものマップ作りの指導（請われれば）
 - ・その他委託団体からの特別な要請事項



(小代地区での生き物調査)

○報告書は、県協議会指定の様式に、調査事項と写真を貼り付けて作成したものを電子データで記録して提出する。紙印刷のもの2部と電子データ（CD）とする。・報告書は調査後速やかに送付し、送付が完了したら事務局まで報告する。

○受託料は、アドバイザー代として1件あたり20,000円とする。

○必要経費として、受託1件につき2,000円を会に納入するものとする。

○その他・調査依頼の情報は事務局よりメールで配信します。・委託団体の責任者と事前打ち合わせ事項：調査道具・水槽・アクリル水槽・エアポンプ等の確認、調査場所・昨年度の資料や参加者数等の確認。

3. 生きもの調査の効果について

平成27年3月に発行された「ひろげよう地域の輪 守ろう田んぼまわりの生きものたち」協議会発行によると、以下のような効果（住民の意識の変化）がアンケートで確認されました。

①参加数の事例 H22 参加総数22,561人、内農家以外の地域住民2,932人、子供達8,517人、②住民の意識変化・環境に配慮した農業への変化:29~42%の増、・子供達が生きものを意識するようになった:90%、・世代を超えた幅広い交流が出来た:62%、・生きものに関する共通認識が醸成された:51%、③地域の環境について・生きものの種類や数が少なくなった:67%、・在来種が減少し、外来種が増えた:29%等です。又この結果、生態系保全活動（魚道やビオトープ、希少種の保全や環境配慮型水路等々）が各所で実施されています。さらに少数ですが学校教育との連携も生まれています。

なおこの生きもの調査の報告書は、平成20年度から25年度まで詳細に作製されており貴重なデータの蓄積がされています。（協議会HPよりダウンロード可）

4. 最後に

筆者も生きもの調査に10年以上関わっていますが、現地では以下の様な課題があると認識しています。①地元組織のマンネリ化（発足当時の役員が半数以上交代し活動に熱意が薄れている）②地元に子供が少ない（集まらない）③アドバイザー任せになり自主性が薄い④行政が指導や指針を示さない（事業消化のみ）等々。



(中仕上地区での生き物調査)

また令和2年度から新型コロナウイルス感染症の蔓延から、生きもの調査の自粛が増えているため、受託件数が減少し、子供たちはこの活動を楽しみにしており、早い時期でのコロナの終焉を祈念したい。

見学会・交流会のあゆみ



副理事長 交流推進部門長 塩野谷 ふじ子

栃木県環境カウンセラー協会では、「環境に関する講演会、イベント等の企画開催事業」の中で、日本技術士会栃木県支部やとちの環県民会議、近県カウンセラー団体などとの交流会、あるいはTECA単独で、環境関係の視察研修・見学会を実施して来ました。

■平成22年

「神流川発電所見学ツアー」に参加して環境カウンセラー協会ぐんまと交流しました。

- ・実施日：平成22年9月23日
- ・場 所：群馬県新里村
- ・参加者：20名（TECAから1名）

■平成23年

「第2回ECU環境カウンセラー全国交流会」への参画をもって全国の団体との交流を実現しました。

- ・実施日：平成23年10月27日～28日
- ・場 所：福島県内南相馬市
- ・内 容：南相馬市を中心とした被災現場等の視察と意見交換を実施。
- ・参加者：TECAから4名



■平成24年

「布引高原風力発電所視察と福島県環境カウンセラー協会との交流会」を近県の協会や他団体と実施しました。

- ・実施日：平成24年10月20日
- ・場 所：福島県布引高原
- ・内 容：福島県布引高原風力発電所視察と各協会等との意見交換・交流を通して東日本大震災の被災者への支援及び絆の継続を確認しました。
- ・参加者：19名（福島県環境カウンセラー協会：7名、群馬県環境カウンセラー協会：1名、日本技術士会栃木支部：2名、栃木県環境カウンセラー協会：9名）



■平成25年

「新エネルギー見学会」をとちの環県民会議省エネライフ部会と日本技術士会栃木県支部と共催で実施しました。

- ・実施日：平成25年11月26日
- ・場 所：栃木県那須野が原地区
- ・内 容：水土里ネットの小水力発電を見学し、他団体と意見交換しながら新エネルギーの理解を深めました。
- ・参加者：12名（TECAからは5名）

■平成26年

「カゴメ(株)那須工場と東芝メディカルシステムズ(株)那須工場の見学会」をとちの環県民会議と日本技術士会栃木県支部と共催で実施しました。

- ・実施日：平成26年11月6日
- ・内 容：食品の安全をテーマとして「カゴメ(株)那須工場」、生物多様性をテーマとして「東芝メディカルシステムズ(株)那須工場」を見学しました。
- ・参加者：20名（TECAからは7名）

■平成27年

福島県環境カウンセラー協会及び全国環境カウンセラー協会北関東ブロックの各協会との交流、新エネルギー見学会、栃木の優れた自然の観察会を計画しましたが日程の調整が困難で実現できませんでした。

■平成28年

「栃木の優れた自然の観察会～渡良瀬遊水地で自然観察会～」を実施しました。

- ・実施日：平成28年5月28日
- ・場 所：栃木県 渡良瀬遊水地
- ・内 容：遊水地のガイドの案内や会員同士の情報交換をしながら動植物を観察し、四季を通して多種多様な生き物に触れ合える場所であることを確認しました。
- ・参加者：5名

■平成29年

「新エネルギー見学会～NEXCO東日本高速道路バイオマス発電プラント見学～」を日本技術士会栃木県支部と共催で実施しました。

- ・実施日：平成29年9月21日
- ・場 所：栃木県那須塩原市
- ・内 容：NEXCO東日本高速道路で管理上発生する刈草や剪定枝等の草木混合材料を熱分解してガス化し、これを燃料として発電を行うバイオマス発電プラントの現状と課題を見学しました。
- ・参加者：TECAから2名



(バイオマス保管場所)

■平成30年

「日光湯の湖と中禅寺湖の水質問題並びに『さかなと森の観察園』視察研修会」を主催しました。

- ・実施日：平成30年9月14日
- ・場 所：栃木県日光市 日光湯の湖と中禅寺湖
- ・内 容：日光大谷川水系における底生動物や水質環境への取り組みの現状を視察しました。
- ・参加者：13名（下野市自然に親しむ会2名、栃木県両性爬虫類の会1名、TECAから10名）



(湯滝下流の底生動物観察)

■令和元年（平成31年）

「福島第一原子力発電所廃炉作業見学」を会員限定で実施しました。

- ・実施日：令和元年6月10日
- ・場 所：福島県 東京電力福島第1原子力発電所
- ・内 容：見学者全員が個人線量計をもって東京電力福島第1原子力発電所構内に入り、廃炉作業の状況と構内作業員の安全や健康管理などを見学してきました。
- ・参加者：19名



(バスの中から1号機の廃炉作業を見学)

■令和2年

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できませんでした。

TECAが推進したい学びと体験を通じた地域SDGsのパートナーシップ



理事 齊藤好広

2015年9月に国連でSDGsが採択されました。経済・社会・環境の均衡の取れた「持続可能な開発」達成のための国際目標です。また、その年12月にはパリ協定が採択され世界共通の長期目標として2℃目標のみならず1.5℃への言及がなされ、脱炭素(カーボンニュートラル)への変革が示されました。

温暖化の要因と考えられる局所的な豪雨により、毎年甚大な災害が発生しています。これまでの社会と経済のあり方では、地球は続かないことが明確となり、人間が社会活動や経済活動を行うためには、地球の環境が健全であることが前提です。環境保全への取り組みは、あらゆる問題解決の基礎となりました。そのためSDGsでも環境保全に関しては重要な課題とされています。

環境教育のテーマには、様々な題材がありますが、「自然」「エネルギー」「廃棄物」が先ず分類され、更にそこから絞った環境テーマへとつながります。そこには社会の仕組みやシステムにおける「循環」「抑制」「共生」といった価値を共有していくことが重要となります。

地球は誰の物でもありません。地球の環境容量と資源には限りがあり、人間を含めたすべての生物が、バランスを取りながら分ち合う事が重要です。

戦後から今日までの文明社会は、自然環境のもつ浄化・再生能力を超え、経済の発展こそが幸せの理想のごとく、便利で快適な暮らしを求め、企業は利益追求に走り、世界中で様々な環境や社会問題を引き起こしてきました。この先、次世代を担う子供たちのための持続可能社会を形成するために、環境を守る行動をして行く人材育成に牽引出来ればと考えます。

その対象は身の回りの問題から地球規模の問題までの広がりをもっています。そのためには、私たち一人ひとりの積み重ねたライフスタイルの変革が求められます。

企業から家庭まで、学校や地域、大人から子供までそれぞれの場で、環境問題を知識として理解するだけでなく、ボランティアや、地域のクリーン活動、参加型のイベントなども組み合わせ、学びと体験から地域を見る「目」を通して、環境の中でその恵みで生活していることを実感し、自然を大切に思う心を育てることにあります。

そして、私たちの活動による環境負荷が、地域や地球の環境に影響を及ぼしていることを理解し、環境を守っていくために行動していく人材を育てることが環境教育の大きな目標であり役割です。

TECAのSDGs活動記録

今日に至っては、SDGsの言葉は共通言語として広がりを見せていますが、まだグローバル企業だけに特化していた社会情勢の中、遅れること2019年2月に、栃木県内初のTECA主催によるSDGsの講演会「持続可能な開発目標ってなに?」と題して開催しました。産官学民の大勢の方々に参加頂きました。これを皮切りに県内で多くの機関団体もSDGsへの普及が広がり、毎年開催されています。その年に宇都宮市がSDGs未来都市宣言をしたことは、期待と喜びが持てました。

2018年より「エコテック&ライフとちぎ」の出展は、SDGsをテーマに置きました。

2019年には国連政策の「機関車トーマスとSDGsを学ぼう」を放映





(エコテックでのSDGs普及コーナー)

(鬼怒川自然観察会の風景)

下 里 予 桑 月 報 2019年(平成31年)1月23日(水曜日)

第1部は、コンサルタンツ「井麻希子さん」が「SDGsから読み解く未来に向けた持続可能な社会づくり」と題して基調講演を行う。第2部は「井麻希子さんをはじめ宇都宮大教育学部教授陣(内雄次さん、カルヒ社会貢献委員長「宮かおるさん、スマイル日光プロジェクト会長小栗卓さんがSDGsの事例を基に討論する。

参加費(資料代)500円、参加希望者は2月5日までに所属、氏名、参加人数連絡先などを明記し、メール (micsashyama@yahoo.co.jp) で同協会宛て申し込む。

6. 鶴塩山理事長090・80022・002 (岩村由紀乃)

未来の社会 どうつくる

課題や担い手 考えよう

【宇都宮】NPO法人県環境カウンセラー協会「鶴塩山理事長」は2月9日午後1時半から「駒生1」目のコンサレで「SDGs講演会」を開く。

SDGsは世界各国が抱える環境や経済などの課題を統合的に解決していくこと、2015年に国連が定めた「持続可能な開発目標」。

その必要性は認識されつつあるが、個人や企業など「誰が」、「どのように」取り組むか、また「スリットは何か」などについて理解されているとは言えず、未来の社会づくりを共に考えようと、同協会が講演会を企画した。

来月 宇都宮で「SDGs講演会」

し、家庭で出来る項目は沢山あることを来場者に学んで頂きました。事業者部門では、中小企業事業者のための省エネ診断相談コーナーを開設しました。

また、毎年、自然観察会を地域の皆さまと開催し、生物多様性を啓蒙しています。

SDGs実施指針の「あらゆる人々の活躍の推進」は、社会教育と様々な社会課題に向かう「住民の学び」との連携の推進が、広がりある生涯学習が実施できるとしています。

これまで、環境保全や地域づくりの場に参加する機会が少なかった人たちへ、環境保全に関与する人材育成のために、市民や民間団体等との相互間の情報交換や交流を行う環境教育の機会と場を提供します。

横枕ほたるまつり
 全10日間開催(2/23-3/1)
 横枕青年団 Presents
科学実験教室・& 自然観察会
 【開催日】6月8日(土) 午後2:00開会(雨天決行)
 【会場】横枕青年団(〒249-0292 栃木県宇都宮市横枕4-23-4)
 【参加費】200円(小学生以下は100円) 当日受付(当日受付の場のみです)
 【申し込み】
 1. 1部 科学とおもしろのバイオマンスサイエンスショー (1部: 全席550円) 13:30開演 14:00~15:30
 2. 2部 横枕動植物生き物自然観察会 (1部: 全席200円) 16:00~18:00
 【お申し込み・お問い合わせ】
 横枕青年団事務局
 (厚村) 090-2226-9555
 【主催】横枕青年団
 【協賛】栃木県環境カウンセラー協会
 【協賛】宇都宮市環境教育推進委員会
 【協賛】横枕青年団サポーターズ

鬼怒川自然観察会
 in 2016

今年も自然観察会を開催いたします。鬼怒川自然観察会では、鬼怒川流域の自然環境を保全・向上させるために、毎年10月16日(日)に「鬼怒川自然観察会」を開催いたします。今年も「鬼怒川自然観察会」を開催いたします。今年も「鬼怒川自然観察会」を開催いたします。

2016.10.16(日) 10:30~13:00

開催場所 宇都宮市下野区下野の地蔵堂(〒249-0292)

【内容】 鬼怒川自然観察会(鬼怒川自然観察会)を開催いたします。鬼怒川自然観察会(鬼怒川自然観察会)を開催いたします。鬼怒川自然観察会(鬼怒川自然観察会)を開催いたします。

【主催】 NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会
 〒249-0292 宇都宮市下野区下野の地蔵堂 TEL: 090-2226-9555

【お問い合わせ】 横枕青年団事務局 (厚村) 090-2226-9555

【協賛】 横枕青年団事務局 (厚村) 090-2226-9555

【協賛】 横枕青年団事務局 (厚村) 090-2226-9555

家庭・中小企業に貢献する省エネを目指して



理事 野 沢 定 雄

1. 家庭の省エネ支援

TECAのホームページには、東日本大震災による電力不足対応として「家庭でできる節電・省エネ実施の具体的事例」と題して下記の区分で紹介しています。

- A：お金をかけないか、少しお金をかけて出来る節電対策 12例
- B：多少のお金をかければ出来る出来る節電対策 8例
- C：少し時間のかかる対策（緑のカーテン） 1例
- D：かなりお金をかけて出来る対策 6例
- E：直接的な節電ではないが、省エネにつながる対策 2例

これらは、かなり役にたったのではないかと思います。その後の新たな省エネ技術が出てきております。また、新型コロナウイルス対策として、従来であれば省エネ対策の一つであった過剰換気の防止などはあまり勧められなくなっています。そうした社会変化をにらんで、今後は下記のような新たな事例を入れて「家庭でできる節電・省エネ実施の具体的事例」の見直しを進めていきたいと思っております。

(参考) 新たな事例

◆照明改善事例

① 玄関の夜間照明

<従来>	<現在>
夜間つけっぱなし	人感センサーで必要な時だけ
100W×10時間/日	60W×0.2時間(12分)/日
年間 8,030円	⇒ 96円(約 7,900円の節約)

約 1/80

夜間でも人が来なければ、真っ暗

② 蛍光灯を、LEDに交換

③ 使っている部屋のみ点灯（廊下、トイレ、洗面所、台所などは使う都度スイッチを“入”/“切”）

◆空調(冷暖房)改善事例

① 部屋に温度計を置いて室内温度で管理 (感覚で調節しない、個人差で運転しない)

② 室内でも季節に合った服装 (夏/冬らしい服装・靴下で) 冬はレッグウォーマーで、足を暖かく。

③ 夏は、外の涼しい空気を利用（網戸）

④ ベットの出入り口に“のれん”

⑤ エアコンのフィルターは必ずきれいに清掃

⑥ 窓ガラスに遮熱シート、断熱シート

◆冷蔵庫、冷凍庫の改善事例

設定を下げる(購入時の設定より下げても、十分に機能します)

参考例: 冷凍庫

<従来>	<現在>
購入時のまま設定“3”	⇒ “設定を”2”に下げた
368kWh/年(お知ぐは 370)	⇒ 210kWh/年
年間 8,096円	⇒ 4,620円(約 3,500円の節約)

■ 温度設定の目安

冷却度	温度設定ランプ	庫内温度
強冷	強	[中]より約2~3℃ 低くなり過ぎ
中	中	約-18℃
弱冷	弱	[中]より約1~2℃ 高くなり過ぎ

“中” = -18℃
“弱” = -15℃ (大差なし)

◆環境家計簿診断

図-1 2019年実績 図-2 季節別電気料金(円) 図-3 電気料金使用履歴(kWh)

図-4 電気料金使用履歴(kWh)

図-5 電気料金使用履歴(kWh)

図-6 電気料金使用履歴(kWh)

図-7 電気料金使用履歴(kWh)

図-8 電気料金使用履歴(kWh)

図-9 電気料金使用履歴(kWh)

図-10 電気料金使用履歴(kWh)

図-11 電気料金使用履歴(kWh)

図-12 電気料金使用履歴(kWh)

図-13 電気料金使用履歴(kWh)

図-14 電気料金使用履歴(kWh)

図-15 電気料金使用履歴(kWh)

図-16 電気料金使用履歴(kWh)

図-17 電気料金使用履歴(kWh)

図-18 電気料金使用履歴(kWh)

図-19 電気料金使用履歴(kWh)

図-20 電気料金使用履歴(kWh)

図-21 電気料金使用履歴(kWh)

図-22 電気料金使用履歴(kWh)

図-23 電気料金使用履歴(kWh)

図-24 電気料金使用履歴(kWh)

図-25 電気料金使用履歴(kWh)

図-26 電気料金使用履歴(kWh)

図-27 電気料金使用履歴(kWh)

図-28 電気料金使用履歴(kWh)

図-29 電気料金使用履歴(kWh)

図-30 電気料金使用履歴(kWh)

図-31 電気料金使用履歴(kWh)

図-32 電気料金使用履歴(kWh)

図-33 電気料金使用履歴(kWh)

図-34 電気料金使用履歴(kWh)

図-35 電気料金使用履歴(kWh)

図-36 電気料金使用履歴(kWh)

図-37 電気料金使用履歴(kWh)

図-38 電気料金使用履歴(kWh)

図-39 電気料金使用履歴(kWh)

図-40 電気料金使用履歴(kWh)

図-41 電気料金使用履歴(kWh)

図-42 電気料金使用履歴(kWh)

図-43 電気料金使用履歴(kWh)

図-44 電気料金使用履歴(kWh)

図-45 電気料金使用履歴(kWh)

図-46 電気料金使用履歴(kWh)

図-47 電気料金使用履歴(kWh)

図-48 電気料金使用履歴(kWh)

図-49 電気料金使用履歴(kWh)

図-50 電気料金使用履歴(kWh)

図-51 電気料金使用履歴(kWh)

図-52 電気料金使用履歴(kWh)

図-53 電気料金使用履歴(kWh)

図-54 電気料金使用履歴(kWh)

図-55 電気料金使用履歴(kWh)

図-56 電気料金使用履歴(kWh)

図-57 電気料金使用履歴(kWh)

図-58 電気料金使用履歴(kWh)

図-59 電気料金使用履歴(kWh)

図-60 電気料金使用履歴(kWh)

図-61 電気料金使用履歴(kWh)

図-62 電気料金使用履歴(kWh)

図-63 電気料金使用履歴(kWh)

図-64 電気料金使用履歴(kWh)

図-65 電気料金使用履歴(kWh)

図-66 電気料金使用履歴(kWh)

図-67 電気料金使用履歴(kWh)

図-68 電気料金使用履歴(kWh)

図-69 電気料金使用履歴(kWh)

図-70 電気料金使用履歴(kWh)

図-71 電気料金使用履歴(kWh)

図-72 電気料金使用履歴(kWh)

図-73 電気料金使用履歴(kWh)

図-74 電気料金使用履歴(kWh)

図-75 電気料金使用履歴(kWh)

図-76 電気料金使用履歴(kWh)

図-77 電気料金使用履歴(kWh)

図-78 電気料金使用履歴(kWh)

図-79 電気料金使用履歴(kWh)

図-80 電気料金使用履歴(kWh)

図-81 電気料金使用履歴(kWh)

図-82 電気料金使用履歴(kWh)

図-83 電気料金使用履歴(kWh)

図-84 電気料金使用履歴(kWh)

図-85 電気料金使用履歴(kWh)

図-86 電気料金使用履歴(kWh)

図-87 電気料金使用履歴(kWh)

図-88 電気料金使用履歴(kWh)

図-89 電気料金使用履歴(kWh)

図-90 電気料金使用履歴(kWh)

図-91 電気料金使用履歴(kWh)

図-92 電気料金使用履歴(kWh)

図-93 電気料金使用履歴(kWh)

図-94 電気料金使用履歴(kWh)

図-95 電気料金使用履歴(kWh)

図-96 電気料金使用履歴(kWh)

図-97 電気料金使用履歴(kWh)

図-98 電気料金使用履歴(kWh)

図-99 電気料金使用履歴(kWh)

図-100 電気料金使用履歴(kWh)

2. 中小企業への省エネ支援

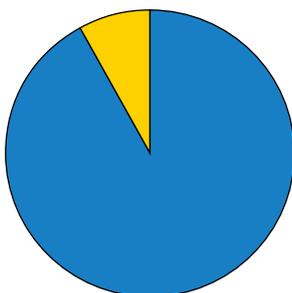
中小企業を主とした事業所向けの省エネ啓蒙活動としては、2019年に下記のようなセミナーを開催し、非常に好評でした。今後はコロナ禍の中で、個別対応も行っていきます。

回	開催	セミナーの内容	受講者
第1回	8月	第1章 SDGs 中の位置づけ、第2章 エネルギーの基本 第2章 省エネ法とは 第4章 企業のやるべきこと	21名
	●要点	・省エネ法に基づいた企業の義務とは何か？ (①定期報告、②選任・届出、③管理標準の整備 ④体制の整備、⑤原単位目標の設定と毎年1%以上の改善)	
第2回	9月	第5章 省エネの着眼点 第6章 省エネ事例	32名
	●要点	・重要な着眼点や事例 ①夜間・休日の電力消費に注目 ②空調温度設定は「28±2℃」ではなく「28℃固定」 ③地下水・井戸水を利用した冷房事例 ④照明改善はLEDだけでなく、人感照明(90%削減)も	
第3回	10月	第7章 上手な省エネの進め方 ~省エネ推進部門の役割~	19名
	●要点	・トップに省エネ法の1%改善義務を説明したら推進が楽に。 ・投資の理解を得られる工夫(多面的に見て効果を大きく) ・全部門が活動に参加できるようなツール「社内お知らせ板」	
第4回	11月	第8章 原単位の考え方 第9章 省エネを正しく評価する解析方法	33名
	●要点	・省エネ改善し、集約化したのに、面積当たりのエネルギー原単位では悪くなる=指標が適切ではないから。 ・問題を明確にできる解析方法 天候の影響は/生産量の影響は/研究開発の影響は 新工場立ち上げや新しいプロセスの影響は など	

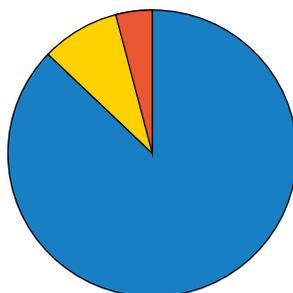


(参考) アンケート結果 ■ 良い・非常に良い ■ 普通 ■ 改善要す

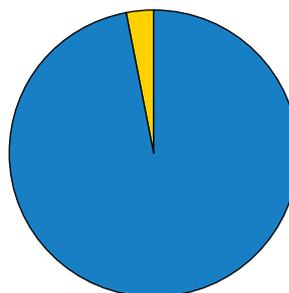
(1) 内容



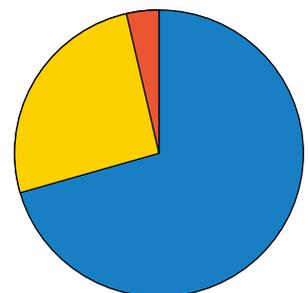
(2) テキスト



(3) 話し方



(4) 時間配分



環境学習会の開催

理事 安場 博

・環境学習会は、環境関連の専門的知識を深めることと、会員間の情報交換を目的として、定例会開催時に随時開催してきました。2005年7月に第1回が開かれ、2020年はコロナ渦で定例会の開催も縮小したために実施出来ませんでした。2021年にはWebで開催し、現在までに99回開催しました。

番号	年月日	題目・テーマ	講演者、敬称略
2005年（平成17年）			
1	7月9日	環境ビジネスと実践	佐藤 孝二
2	8月20日	絶滅危惧種ミズガキを復活させよう	葛谷 理子
3	9月10日	環境と健康	安場 博
4	11月12日	地域環境管理計画の現状と環境カウンセラーの関わり合い	秋場 泉介
5	12月10日	食と農の安全・安心を目指して	近藤 和雄
2006年（平成18年）			
6	1月14日	暮らしに身近なアルミニウム	堀 誠
7	2月11日	環境原論	市川 恭治
8	3月19日	環境と交通	遠藤 和信
9	4月8日	街路樹を育てる 快適な都市空間創出のために	塩野谷ふじ子
10	5月13日	アスベストについて	福島 義隆
11	7月8日	容器包装リサイクル法について	田中 広
12	8月19日	LCA（ライフサイクルアセスメント）初級編	山本 諭
13	9月9日	暦から考える生活感	近藤 和雄
14	11月11日	海外のごみ処事情 ドイツの例	遠藤 和信
15	12月9日	日本の森林環境の変化と森林環境税	市川 恭治
2007年（平成19年）			
16	2月10日	市民の目線で地球温暖化を中心に環境問題を考える	中井嘉一郎
17	3月10日	LRT（Light Rail Transit）をみんなで考えよう	遠藤 和信
18	4月14日	貝を食べて環境生活	佐藤 孝二
19	7月14日	環境問題の行方と環境カウンセラー 環境原論Part2	市川 恭治
20	8月11日	中米地域の環境問題	森島 啓司
21	9月15日	環境報告書について	安場 博
22	12月8日	ドジョウの市場性開発のための調査事例、中国における水田養魚	中荃 元一
2008年（平成20年）			
23	1月12日	自然界の“日本”という、DNAとは？	近藤 和雄
24	2月9日	2050年日本低炭素社会シナリオ：温室効果ガス70%削減可能性	中井嘉一郎
25	3月8日	京都メカニズムについて	安場 博
26	4月12日	宇都宮市清原台での実践事例を中心に地域公共交通について	遠藤 和信
27	5月10日	食品と環境問題	市川 恭治
28	8月9日	考えよう、行動しよう 未来への課題の削減に向けて！	近藤 和雄
29	9月13日	ワークショップ：やってみよう！Eco・エコ省エネゲーム	荻野 陽子

番号	年月日	題目・テーマ	講演者、敬称略
2009年（平成21年）			
30	1月10日	省エネシリーズ 第1回目	中井嘉一郎
31	2月14日	省エネシリーズ、第2回目	中井嘉一郎
32	3月14日	省エネシリーズ 第3回目	中井嘉一郎
33	4月11日	省エネシリーズ 第4回目	中井嘉一郎
34	6月6日	地球と生命のつながり “食べる”ということについて	近藤 和雄
35	7月11日	生命のつながり “食べる”ということが起こすこと	近藤 和雄
36	8月8日	栃木の環境とその取り組み	小林 有一
37	9月12日	蔓延するエコ エコとは何か？	市川 恭治
38	10月10日	化学物質のリスク評価について	安場 博
2010年（平成22年）			
39	1月9日	猛禽類保護の進め方（オオタカについて）	堀 誠
40	4月10日	生活と環境のリスク	近藤 和雄
41	6月13日	PCBの処理について	安場 博
42	7月10日	我が家の省エネ実践活動	遠藤 和信
43	8月7日	工場におけるCO2削減と課題	野沢 定雄
44	9月11日	水質管理における新しい生物学的評価法(WETシステム)の動向	小林 有一
45	12月11日	農薬の光と陰 農薬の歴史と現在	塩山 房男
2011年（平成23年）			
46	2月19日	生物多様性とは何か？	市川 恭治
47	4月9日	環境調査、性能評価分析で使用される分析機器について	秋場 泉介
48	6月11日	食品安全と食品表示	今井 信行
49	7月9日	阿武隈川異変	塩山 房男
50	8月20日	節電の取組	安場 博
51	11月12日	全国交流会に出席して	市川 恭治
2012年（平成24年）			
52	6月9日	福島第1原発の現況と東電料金値上げについて	近藤 和雄
53	7月14日	環境保全・環境ビジネスとNPOの役割	安場 博
54	8月18日	電気料金の仕組み	吉田 正夫
55	9月8日	東日本大震災復興のシンポジウムに参加して	近藤 和雄
2013年（平成25年）			
56	6月8日	ペルーの暮らしと環境	森島 啓司
57	7月14日	新しいエネルギー “燃料電池”	安場 博
58	8月11日	生物多様性の時代における戦略的環境アセスメント	市川 恭治
59	9月15日	宏観異常現象について	近藤 和雄
60	10月12日	環境汚染飛来物質について	近藤 和雄
61	11月9日	日本の伝統文化 野草・山菜を食べよう、伝えよう	塩山 房男
62	12月14日	生物多様性の国家戦略	渡邊 重宣
2014年（平成26年）			
63	4月12日	宏観異常現象 PART 2	近藤 和雄

番号	年月日	題目・テーマ	講演者、敬称略
64	6月7日	環境保全型の農業支援 日本型直接支払い制度について	和気 好順* ¹
65	7月12日	2分間で語る、自分が最近気になる環境問題	近藤 和雄
66	8月9日	環境ラベルについて	安場 博
67	9月6日	ボルネオの生物多様性	市川 恭治
68	11月8日	BCP（事業継続計画）について	曾我部二郎
69	12月14日	ボリビアの生活・仕事・自然	森島 啓司
2015年（平成27年）			
70	1月10日	栃木の稲作り、単収増日本一の成果	塩山 房男
71	2月14日	生物多様性、言葉の起源とこれまでの経緯 1	森島 啓司
72	3月11日	生物多様性、言葉の起源とこれまでの経緯 2	森島 啓司
73	4月11日	ESD（持続可能な開発のための）教育について	渡邊 重宣
74	6月7日	「Eco to Share」参加発表会報告	中井嘉一郎
75	7月11日	宇都宮のまちづくりを考えよう	遠藤 和信
76	10月10日	公共工事と環境	市川 恭治
77	12月12日	空家・空地を放置するとなど問題が起こる？	近藤 和雄
2016年（平成28年）			
78	1月9日	農業分野でのTPPの影響と課題	塩山 房男
79	2月14日	田んぼダム	中荃 元一
80	3月12日	電力の自由化について	近藤 和雄
81	4月9日	省エネ法 特定エネルギー消費機器	安場 博
82	8月7日	外来種の対策	市川 恭治
83	9月11日	NPO法人の留意点	三浦 四郎
84	10月8日	栃木県農業の特徴と課題並びに楽しむ方法について	塩山 房男
85	12月10日	最新の地震情報	近藤 和雄
2017年（平成29年）			
86	1月14日	地球環境対策 カーボンニュートラルとは	近藤 和雄
87	3月11日	第6次産業化・地産地消について	塩山 房男
88	7月8日	新種サンショウウオのエピソード	市川 恭治
89	8月11日	地球温暖化による生き物の影響について、栃木の生物相の変化	市川 恭治
2018年（平成30年）			
90	2月10日	NPO法人について	安場 博
91	8月11日	企業経営とSDGsについて	秋場 泉介
92	10月14日	エネルギー分野での環境カウンセラー活動	野沢 定雄
2019年（平成31年・令和元年）			
93	1月11日	クリーンパーク茂原工場見学	塩野谷ふじ子
94	7月13日	食品ロスとSDGsについて	近藤 和雄
95	8月10日	環境カウンセラーと地域まちづくりの関わり、平石地区の事例	今井 信行
96	10月12日	ESD活動拠点について	伊藤 博隆* ²
97	12月14日	近代の自然災害からの概念	近藤 和雄
2020年（令和2年） コロナで開催実績は無し			

番号	年月日	題目・テーマ	講演者、敬称略
2021年（令和3年）			
98	6月26日	新型コロナウイルスとワクチンの最前線を読み解く 1	齊藤 好広
99	7月3日	新型コロナウイルスとワクチンの最前線を読み解く 2	齊藤 好広

* 1：栃木県農政部 * 2：関東地方ESD活動支援センター

総会時の講演会

理事 安場 博

協会設立10周年の総会（平成21年、2008年、第7回総会）で初めて総会時講演会を開催しました。その後、第18回総会（令和元年、2019年）まで毎年総会時講演会を開催してきました。しかし第19回総会以降はコロナ渦で例年のような形式の総会は開催が難しくなり、中止となりました。

第7回総会（平成20年、2008年、6月14日）

テーマ：「フードチェーンで確保する食品安全」

講演者：角田 啓子 氏 K-OFFICE 代表

パネルディスカッション テーマ：「もったいない食品廃棄物と食品リサイクル」

パネラー 角田 啓子 氏（K-OFFICE代表）

齊藤 総幸 氏（栃木県農政課課長補佐）

小久保行雄 氏（ドンカメ代表取締役）

大島 功 氏（栃木県食品産業協会常務理事）

竹内 明子 氏（とちぎコープ理事長）

コーディネーター：近藤 和雄（TECA理事長）

第8回総会（平成21年、2009年、5月9日）

テーマ：印刷の道を歩み続けて

講演者：井上 光夫 氏（株井上総合印刷 会長）

第9回総会（平成22年、2010年、5月8日）

テーマ：～とちぎ環境立県について～

講演者：増渕 充 氏 栃木県環境森林部

パネルディスカッション テーマ：～知ろう！“エコとちぎ”と身近な自然環境保全

パネラー 増渕 充 氏（栃木県環境森林部）

水谷 正一 氏（メダカリ親の会 会長、宇都宮大学農学部 教授）

高橋 若菜 氏（宇都宮大学国際学部 准教授）

古口 葉子 氏（とちぎコープ生活協同組合 理事）

コーディネーター：秋場 泉介 氏 会員

第10回総会（平成23年、2011年、5月14日）

テーマ1：工場における環境管理と環境経営システム

講演者：三浦 四郎 氏 会員

テーマ2：森の不思議な生き物 変形菌

講演者：山崎 晃 氏 会員

第11回総会（平成24年、2012年、5月12日）

テーマ：エネルギーを取り巻く状況と動向について

講演者：白井 守 氏 関東経済産業局

第12回総会（平成25年、2013年、5月11日）

テーマ1：「東芝メディカルの環境と生物多様性の取り組み」

講演者：松尾 昌治 氏 東芝メディカルシステムズ(株)

テーマ2：「生物多様性とは何か－東芝メディカル那須工場の事例－」

講演者：市川 恭治 氏 会員

第13回総会（平成26年、2014年、5月10日）

テーマ1：「35年間の地方議員・国会議員の活動を通じて得たもの、そして残された課題」

講演者：谷 博之 氏 顧問

テーマ2：「東芝メディカルシステムズ(株)との取り組み PART-2」

講演者：市川 恭治 氏 会員

第14回総会（平成27年、2015年、5月10日）

テーマ：うつのみやの生物多様性

講演者：塩野谷 ふじ子 氏 会員

第15回総会（平成28年、2016年、5月15日）

テーマ：感染症に効く薬がなくなる：抗生物質による環境汚染

講演者：近藤 和雄 氏 会員

第16回総会（平成29年、2017年、5月14日）

テーマ：当法人における自然観察会の取り組み

講演者：塩山 房男 氏 会員

第17回総会（平成30年、2018年、5月20日）

テーマ：田んぼ周りの生き物調査取り組み経過と成果、今後の課題

講演者：宇都宮大学、名誉教授、水谷 正一 氏

第18回総会（令和元年、2019年、5月19日）

テーマ：「温暖化と疾病について：温暖化の影響と感染症」

講演者：齊藤 好広 氏 会員

NPO法人栃木県環境カウンセラー協会20周年にあたって

秋 場 泉 介

当時の上司から、環境カウンセラーという制度があるので挑戦してはと言われ、1998年に事業者部門、2001年に市民部門の環境カウンセラーに登録しました。今年で23年目となります。

私自身は今年還暦を迎える節目の年となり、協会も法人化して20年の歴史ある団体となる事は感慨深いものです。現在の協会会員構成は市民活動、事業者支援活動、公害系専門家、自然系専門家、エネルギー専門家と環境という幅広い分野に対応するエキスパートが所属する団体となっており、その一員に加えて頂いている事を誇りに思います。

現在は会社勤めで、協会活動になかなか参加できない状況となっていますが、会員の皆様のスキルや経験を少しでも吸収し、地域環境の保全、創造に少しでも貢献できるようになりたいと思います。

TECAでの活動の思い出と今後

荒 木 淳 一

私のこれまでのTECAでの活動は、主に以下の3つに分けられます。

①鬼怒川自然探勝会

鳥類の案内人として参加していましたが、鳥はこちらの意図するように出現してくれません。そのため、事前に下見してほぼ確実に見られる鳥をターゲットに、色々「ネタ」作りをしていました。また、ゲーム形式を取り入れたこともありました。野鳥観察に必要な双眼鏡などは野鳥の会栃木県支部に協力いただきました。どう楽しませるか、悩んだことを思い出します。そんな状態だったから、オオタカの食痕や、秋の移動中のノビタキやアリスイを発見した時は、ありがたいイレギュラー「ネタ」で、自分が一番興奮していました。終了後の「芋煮会」も懐かしい思い出です。

②田んぼまわりの生き物調査

現在はコロナ禍で、開催する団体の件数も少なくなっていますが、夏休みといえば県内各地で開催される田んぼまわりの生き物調査です。調査マニュアルが確立する前は迷走することもありましたが、水路でタモ網やさで網を使った生き物採集は、今でも童心に帰りワクワクします。スナヤツメ、キンブナ、ホトケドジョウ、ギバチ、タガメ、ゲンゴロウ、アカハライモリなど希少な生物が採集されることもあります。一方で、オオクチバス、コイ、カラドジョウ、タイワンシジミ、アメリカザリガニ、ウシガエル、カワリヌマエビ属などの外来種は、多数採集されることが多くあります。外来種は在来種を駆逐、捕食するだけでなく、交雑の原因にもなります。人間の意図で持ち込まれた外来種にはなんの罪もないのですが、現在進行形の活動として、本来の生物相と生態系、好適な環境、外来種対策のアドバイスを今後も心掛けていきたいです。

③キャノンメディカルシステムズ生物多様性推進プロジェクト

工場内と周辺の鳥類調査と、バードブランチプロジェクトの協力が主な活動で、こちらも現在進行形です。希少鳥類も含め、これまで56種の鳥類を記録しています。「いきものと共存した企業づくり」をテーマに、バードブランチプロジェクトでは、工場内にバードバスを設置、そして巣箱の設置と続きます。これまで森林内に巣箱を設置した経験はありますが、果たして鳥が工場敷地内の巣箱を利用してくれるかどうか、設置に立ち合いアドバイスはしたものの正直不安がありました。翌年4月

の利用状況調査で巣箱内に巣材を確認した時は、喜びより安堵が先でした。2本の基本軸が軌道にのった段階と考えています。

微力、微速かもしれませんが、新たな展開も工夫していきたいと思います。

20周年おめでとうございます！

伊藤延子

私が環境カウンセラーの資格を取得したのが2004年。もともと、とちぎコープの環境委員会でずっと活動していて、1999年から小学校への出前講座をやっていました。そこでカウンセラーの資格がとれないかとチャレンジ、2度目の応募で合格しました。その数年後2007年だったかと思いますが、別の団体で知り合った近藤氏に誘われTECAに加入しました。初めて会議に出席した時、失礼ながら『おじさんばかり！』『自分は場違いだったかも』と思いました。さらに皆さんのお話の内容も企業の環境マネジメントの話が多く、ついて行けない・・・と。その後何度かお会いするうちに皆さんの人となりがわかり少し緊張が取れました。（笑）

2009年？に中荃氏の声掛けで「田んぼの生き物調査」に参加することになりましたが、アマチュアの域を出ない私に務まるのか不安でした。でも凶鑑片手にできることをやろうとせっせと活動し、いろいろな人と生き物に出会えたのが楽しかったです。

今はコロナのため、思うような活動ができないことが歯がゆいですが、また活動が再開できることを願っています。20周年おめでとうございます！！そして次の10年をめざし頑張りましょう！

環境マネジメント審査の20年を振り返って

今井信行

TECAの中で「技術・MG部」の責任者として、国内版環境マネジメントシステム（EMS）であるエコアクション21（EA21）の普及活動を長年担当してきました。EMSとの出会いはTECAの設立と同年の20年前の2001年です。9月11日に東京有楽町で開催されたISO14001の審査員になるため、セミナーに参加していました。セミナー中に友人から電話があり、ニューヨークで高層ビルに飛行機が突っ込むテロが発生したと知らせが記憶に深く残っています。

また10年前の2011年3月11日に、真岡市市民会館で栃木県環境保全公社主催の改正廃棄物処理法の研修会に参加していたところ、14時46分会場が大きく揺れて窓ガラスが割れ落ち、建物の外に飛び出すと地面は波を打つように揺れていました。近くの真岡市役所の職員が道路上に逃げ出して呆然としていた光景が思い出されます。あれから10年たった2021年は、新型コロナウイルスで我々のEA21の普及活動も一部休止しなければならない状態も発生しています。また、審査の方法も一部に“リモート審査”が採用されるなど、審査手法も変化しつつあります。

定年退職後の2000年からISOの審査員になり品質・環境・食品安全の審査で全国各地に出かけましたが、2019年に母が骨折入院して介護の為に宿泊での遠方の審査が困難になり、日帰り出来るEA21審査に切り替えました。初めてのEMS審査員研修から丁度20年目に当たる今年（2021年）は、EA21中央事務局から「EA21地域事務局アドバンスLab」の判定委員を依頼され、東京新宿の事務局内でEA21判定委員会に参加する機会を得ました。判定委員会では、関東近県の他に北海道、北陸、四国、沖縄等から約1300社の審査結果を判定するため大変な作業ですが、判定を通じて受審企業レベルアップと審査員の力量向上に少しでも役立つことができれば幸いです。

NPO法人20周年によせて

岡田正幸

私は、某大手家電メーカーで平成元年から環境管理課長として、TPM活動ではPM賞認証取得業務、ISO14001認証取得業務では取得PJ事務局長として15年間勤め、平成15年役職定年を迎えました。

退職後は、某樹脂製品製造工場や乗用車のエンジンを製作するアルミダイキャスト工場等で、電気主任技術者とエネルギー管理者として、休日夜間も狩り出される多忙な勤務をしていました。

その様な時、子供の同級生の父親で、当協会執行役の白井啓さんから、テクアへの入会を薦められて、平成22年 軽い気持ちで入会させて頂きました。

ところが、入会してみると、テクアの皆さん方は、官公庁や某大手企業の環境関連業務で立派な実績を挙げられた方々、更に環境コンサルタント社を立ち上げ運営しておられる方々等、環境プロの集団で有ること分かりました。

過去に自分は、蓄電池製造工場や電球蛍光ランプ製造工場で、公害問題や環境改善業務に従事してそれなりの実績や成果を挙げてきましたが？ 入会した時は十年近く環境関連業務から離れていたもので、自分自身の環境関連のスキルが、著しく劣化風化していて愕然としました。

入会後は、会が実施する諸活動・行事のお手伝い等をさせて頂いて来ました。今でも、風化した自分の環境のレベルを向上させようと努めていますが、現在の工場での勤務を継続している限り、肉体的にも精神的にも限界を感じている昨今です。

TECA法人化20周年に寄せて

齊藤好広

20周年を迎え、おめでとうございます。

私が当協会に加入したのが2017年10月で、まだ4年の歳月しか経っておりません。それまでは、都内で医薬品企業に勤めていました。TECA創設2001年の頃は、勤務先でISO14001の認証取得に躍起でした。TECA10周年の2011年は、東日本大震災が起き電力不足との葛藤の年でした。そして20周年を迎えられた今、新型コロナウイルスの猛威に見舞われています。TECA20年の足跡から、10年後を見据えた持続可能な地域とのパートナーシップを遂げていく足跡が築けることを願います。

虫の目・鳥の目・魚の目

塩山房男

小生が中学・高校・大学時代は1960年代で、世の中は水質汚濁・公害問題・農薬問題・自然保護問題と生き物大好き人間だった小生にとっては、とんでもない時代に育ちました。そのため、大学では水質問題と農薬問題を中心に勉強してきました。大学7年間の中で、森下郁子先生の下働きで、日本全国の河川の中でも関東から東北ブロック約60河川約600か所の生物学的水質判定調査を、小生が任せられ実施しました。県庁に入庁して間もない頃、先生は全国の河川調査に基づき「川健康診断」をNHKブックスから出版され、以後小生は川の生き物と向き合う時は、川健康診断という考え方で接してきました。

県庁では農業試験場や普及センターで作物の担当になり、作物健康診断という考え方で、農家の稲を見るときは20項目ほどの調査項目でカルテを作成、稲が順調に育っているかの判断材料としてき

ました。この時はまだ、虫の目・鳥の目・魚の目は知りませんでした。カルテには土の状況、作物の生育状況から、将来何俵取りを目指すかの目標まで推測し、この三つの視点で調査してきたと確信しています。

小生が作物の専門技術員をしていた45歳の頃、何から学習したのか忘れましたが、虫・鳥・魚の目を学びました。生き物の健康診断は、この3つの視点でとらえる必要があることは、その後の小生のものを見る視点になりました。その後、農業後継者や農業改良普及員には、この視点で作物を見る目を養うよう常々話しています。

出典が気になって、インターネットで調べてみると、ビジネス、教師、リーダーシップ等のテーマで数多くの方が絶賛しています。しかし、誰が言い始めたのかは未だに解らない状況です。いずれにしろ、今後ともこの3つの視点に、こうもりの目を加え、物事に取り組んで行きたいと思う今日この頃です。

「組織の品格」

曾我部 二郎

この10年間のTECAでの私の仕事は、キャノンメディカルシステムズ(株)の生物多様性保全活動の支援とTECAホームページの更新作業でした。

2件の仕事は、能力のない小生が皆さんのご協力とご指導で何とかやってきました。

ありがとうございます。

今、「楽しく働くこと」が出来たか、皆さんにご迷惑をおかけしたことがないかを自問しています。

ここ3年の間に、「組織の品格」を問われる他の組織のお話を耳にします。コロナ禍で、組織は、「組織の品格」が問われています。

- ・優れたリスク管理体制が組織の品格をつくれます。
- ・組織内のコミュニケーション（総意）が組織の品格をつくれます。

組織が社会で評価され、組織が発展するためには、「組織の品格」を大切にしたいと思います。

日光白根山

中井 嘉一郎

約60年前高校時代最後の夏休み、5人でキャンプに出掛けました。

予定は菅沼（泊）→日光白根山→五色沼（泊）→湯本スキー場→光徳牧場→中禅寺湖（泊）→男体山と欲張ったものでありました。沼田駅から未舗装道路をバスに揺られること2時間以上、菅沼で英気を養い、いよいよ白根山へとりかかります。真夏の太陽が照り付ける中、金精峠までの九十九折れをあえぎあえぎ、まだ湯気のある馬の落とし物をよけながら。金精峠からは小さなピークをいくつか超え、時期がよければシラネアオイの群落が見られるはずの弥陀が池からの白根山は、標高差400m、草木一本ない岩稜の岩山でありました。すでに水筒の水はほとんどなく、もう少しで頂上というところで全員バテバテ、学校登山で来ていた小学生にお願いし、水を分けてもらいなんとか大事にはならずすみしました。熱中症寸前だったのだろう。五色沼でのテントに珍客「やもり」がやってきて大騒ぎしたのも懐かしい。

それから30年。西那須野に移り住んでからも何回か白根山に登ってきました。一本の草木もなかった岩稜の山には岩陰に草が見えるようになり、小さな木が育ち、今や人間の背丈より高い木もあり自

然の力強さに驚かされます。大輪の薄紫色の花を咲かせるシラナアオイは鹿の食害か？登山道周辺では見ることができず、弥陀が池を見下ろす斜面に、地元の高校生のご尽力で育てられた人工的なものしか見られません。遠因は矢張り人類の自然破壊なのだろうか・・・

10年間の活動を振り返る

中 茎 元 一

満65歳を迎えた頃（第2の職場退職時）知人から、これからの人生は「きょうようときょういく」だよと言われました。「教養と教育」??自分に一番不足していることだと思っていたら「今日用事があると今日行くところがある」の意味だよと、なるほどと感じいったことをいつも思い出します。

私は当協会の会員と同時に、メダカ里親の会の会員（事務局長）という二足の草鞋をはいていますが、活動もほぼ同じです。振り返ると活動の基本は農村環境の保全活動で、その内容は①野生メダカの生息地確認（2年に1度）②田んぼの学校の開催（毎年）③農村の水辺生態系維持向上活動の支援です。特に③については、水田魚道の設置という新たな企画であり、令和2年度末までに県内外に約110基の設置実績を得ました。また、農村の多面的機能向上支払い交付金事業で平成19年度から実施されている「生きもの調査」のアドバイザー業務は、当協会とも共同で毎年各所（平均年10件）に出向いております。更に平成27年9月関東・東北豪雨を契機として、防災・減災対策の1つとしての「田んぼダム」は小山市を中心に推進し、現在宇都宮市、栃木市、上三川町、野木町で約3,000haが計画され、うち約1,000haが実施されています。

現在73歳「今日用と今日行く」を活動の原点に県内外を飛び回りたいと思っています。

データ集め・解析の趣味が省エネにピッタリ

野 沢 定 雄

私はいろいろなデータを集め、解析するのが趣味。昔はプロ野球各チームの順位推移をグラフにしたり、釣りに行くたびに釣果を記録して楽しんでいました。最近では、給油ごとの車の燃費、マラソン大会でのタイム、ゴルフの毎回のスコア、など30年以上記録しています。これをどうするか、というと、燃費は月ごとの変動、10kmのマラソンタイムは、年齢とともに毎年40秒位ずつ落ちていること、ゴルフは40才から65才になってもスコアはほとんど変わらない・・・など自分なりに理論付けて満足しています。

そんな自分が社会人になってすぐ、電気系の技術者が少ないことから、省エネの資格を取るようになり、エネルギー管理者になりました。そして先輩から1時間ごとの工場の電気使用量データなどを渡され、私の性格が燃え始めました。さっそく正月や日曜日の夜など工場の休みにどの位電気が使われているか気になり解析したら、たくさん問題が見つかりました。提案して省エネプロジェクトを作り、10年かけて20%以上の電力削減ができ、工場を経済産業大臣賞受賞に導くことができました。「一番重要なのはデータ集めと解析、そして次に専門家主体の対策実施ができる環境を整えるリーダーシップ」という私の持論は、それまで実際の対策事例発表が主体だった各地区の省エネセミナーでの新しい内容として受け入れられ、200回以上の講演に機会をいただきました。

世界中の人を苦しめているコロナ禍の今、ワクチン接種の回数・接種後の抗体値の推移・症状に影響する要因、その他多くのデータが集められ、数年後にはどんなことが明確になって、どんな対応が標準化されるのか、解析に注目・期待しています。

栃木県環境カウンセラー協会（TECA）の設立初期の思い出

福 島 義 隆

私は1997年3月に第一期生として事業者部門の登録を受けました。

翌年6月に第一期、二期生によりホテル丸治においてTECAが結成され、初代会長に市民部門の栗原貞夫氏が選出され活動を開始しました。

各自、所属事業所等の業務をこなしながらの活動でしたが、年5回程度の定例会と鬼怒川の自然探勝会・芋煮会、各種講演会、資格者養成講座、企業見学会等を行いました。定例会場は清原、西（公民館）、瑞穂野、姿川等の市民センターを利用し、企業・施設見学は「キリンビール栃木工場」「板戸処分場」に行きました。又、講習会としては神山会員（故人）発案によるTECA認定資格取得を目的とした「PRTR指導者養成講座」「介護環境指導者養成講座」を開催し、結構忙しかった記憶があります。

又、野口三郎会員（故人）を中心として、現在のNPO法人格の取得も行いました。

私個人は広報担当理事に指名され、現在の「TECA NEWS」の発行を担当しましたが、その後、体調を崩し2006年2月に活動を縮小し、探勝会や総会のみでの出席が多くなりました。なお、2018年に会計担当理事をまかされ、一期二年就任いたしました。

この間に、会長は初代の栗原氏から佐藤孝二氏にバトンが引き継がれましたが、両氏ともに逝去され、海外で活躍された森嶋啓二氏も続かれたことは大変残念なことであります。

今と違って初期のころは資格更新のための研修も結構厳しく、二日間行われた講習会だけでなく、研究発表等も指名で行うなど緊張したことを思い出します。最も印象に残っているのは、2001年9月に早稲田大学で行われた更新研修（10日～11日）を終了し、家についてほっとしているときに見たテレビ報道でした。ニューヨーク貿易センタービルに航空機が突っ込んだ所謂「9.11 同時多発テロ」の発生です。これがこの後の中東での戦争を誘発し、現在まで大きな混迷を残していることには胸が痛みます。

TECA発足以来25年になりますが、益々の発展をお祈り申し上げます。

NPO法人20周年によせて

堀 誠

私は、1998年4月1日に「環境カウンセラー事業者部門」に登録され、あれから、約23年の月日が過ぎたということで、非常に感慨深い思いです。

当時の記憶では、私を含め環境カウンセラー有資格者の有志により「栃木県環境カウンセラー協会」の立上げを企画し、理事長に栗原貞夫氏、副理事長に浅海瑛二氏、大川泰弘氏、専務理事に佐藤孝二氏、理事に黒崎由行氏、福島義隆氏、森嶋啓司氏、堀誠、近藤和雄氏、野口三郎氏、監事に山本諭氏、小塚堅樹氏の12名の役員で活動し、その後、NPO法人化され、現在に至っています。この間、故人となられました会員の方にはこの場をお借りして心よりお悔み申し上げます。

活動としては、環境省主催による「環境フェア」における、関東地区環境対策調査官事務所スタッフとしての活動、また、栃木県環境政策課主催による「EA21セミナー」の支援、今市市地域活性化対策会議のメンバーとして、大室地区の環境保全のアドバイス、連合栃木「エコプロジェクト研修会」での支援等を実施しました。

特に、故神山副理事長と実施した、鹿児島大学で実施した「介護と環境」プログラムや、「PRTR

に係る化学物質管理指導者養成講座(NPO法人栃木県環境カウンセラー協会及び、新潟県環境カウンセラー協会主催)」は、神山氏の別荘に籠ってテキスト作りに専念したことが、懐かしく思い出されます。

今後も、「NPO法人栃木県環境カウンセラー協会」の末永い発展をお祈りします。

TECAでの思い出

安 場 博

私は事業者部門の環境カウンセラーで、2002年6月に入会しました。協会のNPO法人設立総会後の最初の通常総会の年で、松下（現パナソニック）を退職し、次のステージに進む時でした。PRTR法が間もなく施行される時代で、退職前には日本電機工業会（JEMA）で環境や化学物質関連の委員会に委員として出席しておりました。化学物質規制などの最新の情報を持っていたこともあり、故神山さんや堀さんと、PRTR法の届け出や化学物質に関する規制などの資料をまとめ、宇都宮、東京、直江津、鹿児島へ講演会の講師として参加したのも、今では楽しい思い出です。

TECANNEWSにも積極的に投稿し、編集の三浦さんや塩野谷さんには、ご迷惑をかけていたかも知れません。特に20号から「書籍の紹介」として、現在65号まで毎回記事を書かせて頂いております。どんな本を紹介しようかと考えるのと、どのように纏めるかを考えるのは良い頭の体操となります。自然観察会などに参加して、皆さんが立派な大人用の捕虫網を持っているのを見て、私も志賀式捕虫網を購入し、夏には、時々昆虫採集を楽しんでいます。このように栃木県環境カウンセラー協会を利用して、私にとって活動の場を広げることが出来ました。

NPO法人栃木県環境カウンセラー協会20周年によせて

山 田 みやこ

NPO法人化20周年おめでとうございます。定例会や活動に皆さまと一緒する機会が少なくないへん恐縮しておりますが、寄稿の機会をいただきありがとうございます。

私は、20年程前、合成洗剤の皮膚障害から昔ながらの石けんに出会い、みるみる皮膚の再生が始まり合成界面活性剤と石けんの違いを明確に経験し、石けん運動に関わり、水環境保全、遺伝子組み換えでないNON-GMO運動、ごみ減量のリデュースとリユースなど、生活に密着した課題解決に取り組む生活クラブ生協に携わってきました。そうした中で、環境活動を軸とした環境カウンセラー協会に加入させていただき、専門的な経験を持った会員の皆さまの様々な活動情報を参考にさせていただきました。ありがとうございました。

栃木県でも昨今周知されてきましたSDGsですが、環境カウンセラー協会がいち早く取り組んできたことから、3年前の2019年8月、県議会民主市民クラブ会派で2018年度SDGs未来都市選定都市となった神奈川県を視察いたしました。神奈川県がSDGsに取り組んだ経緯は、由比ヶ浜にシロナガスクジラの赤ちゃんが漂着し、その赤ちゃんの胃の中にビニール片がたくさん入っていたことから、廃プラスチックについて関心が高まり、「かながわプラごみゼロ宣言」となったそうです。パートナー登録制度により、企業・NPO・大学等が経済・社会・環境の3側面に関わる取組事例を広く公表し、県の中小企業制度融資に結びつくメリットも創ったということでした。

栃木県においても「とちぎ未来創造プラン」を策定し、SDGsの2030年目標達成と、カーボンニュートラルの2050年実現に向けてロードマップを策定したところです。前途多難な道ですが、総力を上げて取り組んで行かなければならないと痛感しています。

コロナ禍における環境活動

山本義紀

TECA20周年おめでとうございます。2020年6月にTECAに入会させて頂きました山本義紀です。この年、新型コロナウイルスによる初めての緊急事態宣言が発出され、必要以外の外出が自粛されることとなりました。その後、5月下旬に宣言は解除されたものの、ウイルスの蔓延は治まることはなく、企画されていたイベント等が次々と中止となりました。1年目の私は何もできずに時間だけが過ぎていきました。新型コロナウイルスの収束が見通せない中、新しい環境活動の在り方を考え、行動していかなければならないと考えさせられた1年になりました。

20年前というと私はまだ高校生であり、なんとなく環境に興味を持ち始め、環境に係る方向に進みたいと考え始めた時期であったと記憶しています。農学部に進学し、就職先はたまたま内定した建設コンサルタントに決めました。環境事業部を希望しましたが、水道事業部に配属され、名古屋市で上水道事業の計画や設計に携わっていました。4年が経過したころに、地元で環境に係る仕事がしたいと強く思うようになり、転職して栃木に帰郷しました。その後、地道な努力の甲斐もあり環境カウンセラーの資格を取得することができました。

次回の記念誌（30周年？）では、環境カウンセラーとしての活動をご報告できるよう、今の自分にできることから実施していきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

TECAでの思い出

吉田正夫

私はTECAで開催したISO14001審査員CPD研修で、エネルギーに関する講師を担当したことが強く印象に残っております。再生可能エネルギーとしては太陽光発電や風力発電ばかりが注目されますが、昔ながらのバイオマスを使ったカーボンニュートラルの例として、藻で石油を作る取り組みを紹介いたしました。石油資源はあと50年で枯渇するとも言われていますが、石油メジャーが座して死を待つ訳もなく、アメリカの砂漠では様々な取り組みがなされています。日本ではIHIの榎本藻、デンソーのユーグレナが光合成藻の代表格で、筑波大学の非光合成藻等も研究が進められていますが、米空軍が藻を原料とするジェット燃料開発に力を入れているのに比べると遥かに見劣りします。ソーラーパネルを載せたプロペラ機でのんびり移動する時代が来れば別ですが、航空機は自動車のように完全EV化されることはないと思われず。

菅政権になって2050年までにCO2排出ゼロを打ち出しましたが、それ以前の日本は2050年までにCO2排出量を現在の80%にするとの控えめな目標で、高効率石炭火力発電の導入や輸出に一生懸命取り組んでいました。水素社会の実現は、日本だけが舞い上がっている印象ですが、裏に隠れた高温ガス炉（新型原子炉）とISシステムによる安価な水素生産計画を見逃してはなりません。

前述のCPD研修で、原子力工学は後継ぎのいない学問という話もしました。かつて旧帝国大学を中心に優秀な学生に人気のあった原子力も、今や希望する学生もなく斜陽そのものです。CO2削減を原子力発電に頼るのは、将来的に非常に危険な選択だと言わざるを得ません。

省エネルギーで温暖化を防止しようと考えてきましたが、今や時間稼ぎ以外の何物でもなく、脱炭素に向けた本格的取り組みが求められます。今後ともTECAの皆様とともに歩んでまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

TECAでの思い出

渡 邊 重 宣

私は2006年1月に、当時、栃木県産業振興センターにおられた安場さんの勧めもあり栃木県環境カウンセラー協会に入会しました。佐藤理事長の時代です。入会当初は環境カウンセラーの資格はありませんでした。入会してから環境カウンセラーの資格を取得したにわかカウンセラーです。TECA（栃木県環境カウンセラー協会）の活動に貢献できた覚えはほぼありませんが、そうした中でもECU（全国環境カウンセラー連合会）の担当になったことは一つの記憶として残っています。2010年6月からECUの理事を務めることになりました。近藤理事長の時代です。前任者は野口さんでした。当初、ECUがどんな団体なのか、どんな活動をしているのか全く理解していませんでした。従って理事会に出席してもただ議論を聞いているだけでした。理事2期目になった頃、漸くECUとTECAのパイプ役としての役割を意識するようになりました。徐々に発言する機会も増えていきました。

そうしたなか2013年10月にはECUが請け負った平成25年度環境カウンセラー研修（関東地区）において「生物多様性保全に係る環境カウンセラー活動」をテーマに、分科会のコーディネーターを務めることになりました。今振り返っても冷や汗ものでした。その後、2015年8月には、ECU関東Bブロックのブロック長として「環境カウンセラー制度改革提言のための意見交換会」を開催することになりました。この際に、関東Bブロック傘下の茨城県環境カウンセラー協会、環境カウンセラーズ群馬を始め、TECAからも安場理事長他多くの会員に参加いただき熱心な意見交換がなされました。この時全国に先駆けて取りまとめられた「宇都宮宣言」は他ブロックの提言とともに、ECUでの取りまとめを経て環境省に提言がなされました。2017年5月には環境省から「環境カウンセラー制度の改革に向けた当面の対策について」が公表されました。そんなこんなの中にECU理事も4期8年の長きになりました。そこで2018年5月をもってECU理事を退任させていただくことにしました。その後、曾我部さんがECU理事に就任され現在も活躍されています。

各種資料編

1) 令和元年度 事業報告書	37
2) TECA事業年譜 平成23年～令和2年	45
3) 役員の履歴	58
4) 各種表彰 受賞者一覧	60
5) TECA 会員名簿 2017年(2021年)、2011年	61
6) TECAとともに環境社会の道標	63

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日より令和2年3月31日まで

1. 事業実施の方針と成果

事業実施の方針	事業の成果
<p>令和元年度は、</p> <p>(1) 環境問題改善に関するコンサルティング事業として、引き続き EA21 の普及促進、さらに宇都宮市及び栃木県の環境マネジメントシステム (EMS) 適合性評価への支援活動を継続する。また、ISO14001 と EA21 に関連したマネジメントシステムの研修会は継続開催する。さらに、栃木県等が主催、主管する環境関連施策へ積極的に協力参加する。</p>	<p>(1) カウンセリング事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木県主催による「EA21 普及セミナー」及び「自治体イニシアティブ・プログラム」への講師派遣を実施。 ・EA21 地域事務局とちぎ主催による「EA21 産業廃棄物処理業者向けガイドライン 2017 年版説明会」への講師派遣は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。 ・宇都宮市及び栃木県の環境マネジメントシステム (EMS) 適合性評価への支援活動を実施した。 ・ISO14001 審査員の CPD 1 日コース研修会を実施した。
<p>(2) 環境に関する講演会、イベント等の企画開催事業では、自然観察会とホテル探勝会は横枕青年団と共催で継続開催し、鬼怒川自然観察会は平石地区「鬼怒川の自然に親しむ会」との共催で実施する。また、NPO 法人環境カウンセラー全国連合会 (ECU) との交流、夢大地応援団ボランティア活動は継続し、市民活動や他団体との交流会を通して、環境保全の普及を図る。さらに、SDGs の普及を図るため、関係機関団体等と連携し、研修会等を開催する。</p>	<p>(2) 企画開催事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第13回自然観察会とホテル探勝会」は、那須烏山市横枕青年団との共催で実施した。 ・「鬼怒川自然観察会 in2019」は、宇都宮市平石地区の「鬼怒川の自然に親しむ会」と共催で実施した。 ・とちぎ夢大地応援活動は、不参加となった。 ・環境学習会は、5回開催し(通算99回)、会員相互の情報の共有化が図れた。 ・SDGs 関連では、「事業所向け省エネセミナー」を4回に分けて実施した。また、「宇都宮市 SDGs 人づくりプラットフォーム」に会員登録をした。
<p>(3) 環境保全に関する助言、提言事業では、「多面的機能支払交付金事業」に係る田んぼ周りの生き物調査への継続支援、また、引き続き、企業の生物多様性への取組に対するアドバイス及び支援を行う。</p>	<p>(3) 環境保全対策事業支援では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も「多面的機能支払交付金事業」の支援として、登録アドバイザー6名による「田んぼ周りの生き物調査支援」を延べ21件実施した。 ・企業の生物多様性への取組に対するアドバイス及び支援を昨年に引き続き実施した。 ・日光清流清湖保全協議会主催の「中禅寺湖湖上学習会」への支援活動を実施した。
<p>(4) 環境教育支援事業では、団体、事業者等からの環境問題に関する講演等の要請には適任者を選任して随時対応する。また、ECU 主催事業等についての支援を行う。</p>	<p>(4) 環境教育支援事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C社の講演要請で、「省エネセミナー」を実施した。 ・ESD 活動拠点施設登録及び環境省「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」へ加盟した。
<p>(5) 機関誌発行等による広報事業では、TECANNEWS の発行、外部機関誌への投稿、ホームページによる情報発信、さらに各市町村主催の展示会等への出展により、当法人並びに環境カウンセラー制度の広報活動を充実させる。</p>	<p>(5) 広報事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関誌「TECA NEWS」を3回発行(第61号～63号)し、配布先を拡充した。 ・TECA メーリングリストによる情報交換を実施した。 ・外部機関誌「とちぎ法人会だより」へ、引き続き投稿した。 ・展示会等への出展では、昨年度に引き続き、栃木県地球温暖化防止活動推進センター主催の「Eco テック&ライフとちぎ 2019」への出展に参加した。 ・ホームページでの情報発信等を通して、環境保全への啓発と併せて、当法人及び環境カウンセラーのPRに努めた。

2. 事業実施の結果

事業名	事業計画	事業実施結果
<p>(1) 環境問題改善に関する コンサルティング 事業</p>	<p>1) EA21の普及促進の継続 EA21 認証・登録制度の運用に伴い、「エコアクション21 地域事務局とちぎ」と連携し、認証・登録の支援体制を維持し、更なるレベルアップを図る支援を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「EA21 普及セミナー」支援 実施日：令和元年 10 月 10 日 場 所：宇都宮商工会議所 受講者：5 社 従事者：講師（今井・渡邊） ・「EA21 自治体イニシアチブ」支援 実施日：令和元年 11 月～令和2年2月 場 所：宇都宮商工会議所 受講者：4 社 従事者：講師 （今井・曾我部・渡邊・中井・岡崎） ・「EA21 審査人力量向上研修会」支援 実施日：令和2年2月15日 場 所：宇都宮商工会議所 参加者：11 名 従事者：コーディネーター（今井） ・「EA21 産業廃棄物処理業者向けガイドライン 2017 年版説明会」支援は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
	<p>2) 環境マネジメントシステム (EMS) 適合性評価への支援 引き続き、宇都宮市・栃木県の EMS 適合性評価を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・EMS 適合性評価支援 「宇都宮市環境マネジメントシステム（もったいないEMS）外部監査」の実施 実施日：令和2年1月28日 場 所：宇都宮市役所 内 容：環境部環境政策課の EMS 事務局の監査 従事者：今井・佐々木 ・「栃木県庁の EMS 外部評価」の実施 実施日：令和元年 11 月～令和2年2月 場 所：栃木県内各現地施設 18 施設 従事者：堀・秋場（評価委員） 評価委員会：令和元年 11 月 6 日 令和2年 2 月 5 日 施設現地調査（各自 6 施設担当） 令和元年 11 月 19 日～12 月 17 日
	<p>3) 企業等からの専門家等の派遣要請への対応 要請があったときにその都度対応する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実績無し

	<p>4) 研修会の実施</p> <p>①CPD 研修 ISO14001 審査員(審査員補、審査員、主任審査員)を対象として、専門能力の継続的開発(CPD)に資する研修会を実施する。</p> <p>②EA21 情報の交換会・コンサルタント会議 EA21 コンサルタント間の情報交換を密にし、EMSの更なる普及を図る。</p>	<p>① CPD 研修会 テーマ：①公害関連環境法規 ②環境測定分析技術 ③審査技術 実施日：令和元年8月17日 場 所：宇都宮市東市民活動センター 受講生：9名 従事者：講師(佐々木・秋場・今井)</p> <p>② EA21 コンサルタント会議は実施できなかった。</p>
	<p>5) 商工会議所等との協働 引き続き、各商工会議所等に対し環境保全活動を提案し、環境取組みの事業化を図ると共に、中小企業への省エネ診断支援や環境対応支援を実施する。</p>	<p>・実績無し</p>

<p>(1) 環境問題改善 に関する カウンセリング 事業</p>	<p>6) 栃木県等が主催又は主管する環境関連施策への協力参画</p> <p>①とちぎ環境産業技術振興協議会</p> <p>②宇都宮都市交通戦略推進懇談会</p> <p>③エコキーパー事業所認定審査委員会</p> <p>④とちの環県民会議</p>	<p>① とちぎ環境産業技術振興協議会 ・実績なし</p> <p>② 宇都宮市都市交通戦略推進懇談会 下記日程でしたが、新型コロナウイルス関係で中止、意見聴取が行われた。 実施日：令和2年3月24日 場 所：市役所 14F 会議室 内 容：第2次宇都宮市交通戦略の令和元年度の取り組み、次年度計画等 従事者：塩山</p> <p>③ エコキーパー事業所認定審査委員会 ・令和元年度から中止となった</p> <p>④ とちの環県民会議</p> <p>・とちの環県民会議からの表彰 受賞日：5月23日 場 所：青年会館 内 容：とちの環県民会議表彰 受賞者：塩野谷</p> <p>・見学会への参加 実施日：2020年2月21日 場所：鹿沼市、壬生町 ・ジャパンテック 宇都宮工場 ・日環リサイクルワールド 内 容：廃棄物の循環利用施設見学 従事者：秋場・齊藤・塩山</p> <p>その他</p> <p>①栃木県地球温暖化防止ネットワーク会議 実施日：7月19日 場所：宇都宮市 地球温暖化防止活動推進センター 内 容： ・各団体の活動情報の共有 ・「とちぎ版環境かるた 学習プログラム」のCDについて ・エコテック 2019 について 従事者：塩野谷</p> <p>実施日：2020年1月31日 場所：宇都宮市 地球温暖化防止活動推進センター 内 容： ・「脱炭素型の社会と地域の課題の同時解決」研修会 従事者：塩野谷・塩山</p>
---------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>(2) 環境に関する 講演会、 イベント等の 企画開催事業</p>	<p>1) 環境学習会の開催と充実</p> <p>毎月の定例会開催に併せて、環境学習会を継続開催する。</p>	<p>・環境学習会は、毎月の定例会開催に併せ、1時間程度実施した。本年度5回開催 場所：宇都宮市東市民活動センター 7月13日：近藤 8月10日：今井 10月12日：伊藤氏 (ESD活動拠点施設について) 12月14日：近藤</p> <p>場所：クリーンパーク茂原清掃工場 1月11日：焼却場とリサイクルプラザ 見学 市川・岡田・斎藤・塩山 塩野谷・曾我部</p> <p>*学習会は、通算99回目となった。</p>
	<p>2) 自然探勝会の実施</p> <p>① 自然観察会とホテル探勝会 昨年度に引き続き、那須烏山市横枕青年団と共催事業として実施する。 実施時期：6月8日(土) 予定</p> <p>② 鬼怒川自然観察会 平石地区「鬼怒川の自然に親しむ会」との共催事業として実施する。 実施時期：10月27日(日) 予定</p>	<p>① 第13回自然観察会とホテル探勝会 実施日：6月8日 場 所：那須烏山市横枕地区小木須川 内 容： 横枕青年団主催、TECA共催、那須烏山市ふれあいの郷づくり協議会が後援 1) 自然観察会(水質調査含む) 2) ホテル探勝会 参加者：観察会117名、探勝会約200名 従事者：秋場、佐々木、渡邊、斎藤、塩野谷、塩山、曾我部</p> <p>② 鬼怒川自然観察会 in2019 実施日：10月27日 場所：鬼怒川平石地区下柳田の河川敷 内容：平石地区「鬼怒川の自然に親しむ会」との共催で、河川敷の植物・昆虫・鳥の観察、水生生物と水質調査 参加者：190名 従事者：秋場、今井、佐々木、中茎、塩山、曾我部、福島、安場</p>
	<p>3) 見学会・交流会の開催</p> <p>① 交流会 NPO 法人環境カウンセラー全国連合会(ECU)、同北関東ブロック協議会及び環境関連団体との交流会を検討する。</p> <p>② 福島第一原子力発電廃炉作業の見学会を実施し会員の交流を図る。 6月10日(予定)</p> <p>③ 内陸火力発電所の見学会が可能か検討し他団体との交流を図る。 内容については、今後検討する。</p>	<p>① 交流会 ・交流会は、未実施。</p> <p>② 福島第一原子力発電所見学 実施日：6月10日 場所：東京電力福島第1原子力発電所 内容：廃炉作業の見学 従事者：秋場、市川、今井、太田、岡崎、岡田、近藤、斎藤、佐々木、塩山、塩野谷、白井、曾我部、中井、中茎、野沢、三浦、福島、安場</p> <p>③ 新エネルギー見学会 ・神戸製鋼の国内初の内陸型火力発電所「真岡発電所」の見学を検討したが、見学受入れは2炉運転開始後からとのことで実施できず。</p>

	<p>4) 夢大地応援団主催 ボランティア活動への参加 事務局情報をもとにボランティア活動への参加を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢大地応援団 今年度は開催回数が少なく、都合があわず参加できなかった。
	<p>5) SDGs の普及に関わる研修会の開催 SDGs と企業の省エネ対策等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所向け「省エネセミナー」の開催 場所：栃木県産業会館(第1回) 栃木総合文化センター(第2回以降) 第1回目：8月21日(水) 受講者：21名 内容「省エネの基本」「省エネ法」 第2回目：9月18日(水) 受講者：32名 内容「省エネの着眼点と有効事例」 第3回目：10月23日(水) 受講者：19名 内容「効率良い省エネの進め方」 第4回目：11月20日(水) 受講者：33名 内容「原単位の考え方と省エネ解析のやり方」 従事者：野沢・曾我部 ・ 「宇都宮市 SDGs 人づくりプラットフォーム」会員登録。

<p>(3) 環境保全に関する 助言、提言事業</p>	<p>1) 環境保全対策事業支援 支援活動の実施 「多面的機能支払交付金事業」に係わる田んぼ周りの生き物調査支援 (旧「農地・水・環境保全向上対策事業」として平成19年から実施中) 昨年の実績を踏まえた調査支援を継続する。</p> <p>2) 企業の生物多様性への取組に対する アドバイス及び支援 キャノンメディカルシステムズ(株)の生物多様性の保全活動支援の継続 内 容 ・ 那須事業所の生物多様性活動の支援 ・ 工場と工場周辺の生き物モニタリング ・ 「いきもの観察会」の支援 ・ 生物多様性の更なる充実化を目指し、蝶ビオトープやエコロジー緑化などへの更なる提案を行う。</p>	<p>1) 環境保全対策事業支援 「多面的機能支払交付金事業」に係る田んぼ周りの生き物調査支援 実施日：6月～10月 場所：県内(支援活動件数：21件) 従事者：6名 荒木、市川、伊藤、塩山、中茎、堀</p> <p>2) キャノンメディカルシステムズ(株)(CMSC(株))の生物多様性保全活動支援 実施日：2019年4月～12月 場 所：CMSC(株) 内 容： ① 那須事業所の生物多様性活動の支援 ② 工場と工場周辺の生き物モニタリング調査の支援 ③ バードブランチプロジェクト支援 ④ 第6回いきもの観察会 参加者：100名 従事者：荒木、市川、曾我部、安場、塩山、福島、斎藤、佐々木 ⑤ 工場エコロジー緑化と蝶のビオトープの環境維持</p> <p>3) 日光清流清湖保全協議会主催の「中禅寺湖 湖上学習会」への支援活動を実施。 実施日：8月21日 場 所：中禅寺湖、地獄沢 内 容：中禅寺湖の水質と流入河川での生き物調査 従事者：塩山、佐々木</p>
-------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>(4) 環境教育 支援事業</p>	<p>1) 団体、事業者等からの環境問題に関する講演等の要請に応じて実施する。</p> <p>2) 環境教育について 必要に応じて、他の団体等の環境教育に関する活動状況の把握に努め、連携や独自の教育プログラム等（既設のプログラム・教材の利用も含む）の企画、準備を検討する。</p> <p>3) NPO 法人環境カウンセラー全国連合会（ECU）主催事業についての支援</p> <p>4) ESD 活動支援センター主催事業への参画</p>	<p>1) 講演会要請への対応 ①とちの環県民会議の研修会（SDG s 講演会） 実施日：9月7日（土） 場所：とちぎボランティア NPO センター 内容：SDG s に視る自立社会の動向を概観する」 従事者：斎藤</p> <p>②事業者向けの省エネセミナー 実施日：2020年2月27日（水） 場所：キャノンメディカルシステムズ株 内容：①省エネの基礎、②省エネを効率よく進める秘訣 従事者：野沢</p> <p>2) 環境教育について 実績無し</p> <p>3) ECU 事業についての支援 ECU 主催事業の企画への参画、支援。 ・2019 年度環境カウンセラー研修会（2月26日）は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。</p> <p>4) 関東 ESD 活動支援センター主催事業への参画 ・環境省 ESD 活動推進拠点施設の登録 ・環境省「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」への加盟</p>
------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>(5) 機関紙発行等 による 広報事業</p>	<p>1) 機関誌の発行 編集内容、発行部数等については検討する。（事業実施の内容、実施結果、及び会員等による定例会の検討内容等） 発行部数：250部 発行予定回数：年3回程度 配布先：会員及び関係団体（無料）</p>	<p>・機関紙「TECA NEWS」の発行 発行部数：各200部～250部 発行回数：3回 第61号（H31年5月1日発行） 第62号（R1年9月1日発行） 第63号（R2年1月1日発行）</p> <p>配布先：会員、関係団体、行政機関の他に交流会やイベント等で配布</p>
	<p>2) ITによる情報伝達 当法人のホームページで随時情報を発信していく。 メーリングリストにより会員相互の情報交換を図る。</p>	<p>・ホームページは、適時更新を行い運用した。 ・メーリングリストによる情報交換については、今後とも更なる活用を行うことにする。</p>

	<p>3) TECA の P R 下記の展示会等に出展しテクアの P Rを実施する。なお、展示企画については検討する。</p> <p>①栃木県地球温暖化防止活動推進センター主催 「Eco テック&ライフとちぎ 2019」 日 時：未定 (平成 30 年度は 12 月 2 日に実施) 場 所：マロニエプラザ 従事者：10 名程度</p> <p>②その他の市町村等で開催する環境イベントへの参加 随時、会員からの要請や情報入手し、参加を検討する。</p>	<p>① 「Eco テック&ライフとちぎ 2019」 事前準備：11 月 29 日 (金) 従事者：今井、太田、岡崎、齊藤、塩野谷、塩山、曾我部、中荃、野沢、安場 実施日：11 月 30 日 (土) 場 所：マロニエプラザ 内 容：「栃木県環境カウンセラー協会の活動紹介」 従事者： 秋場、今井、太田、安場、岡田、近藤、齊藤、佐々木、塩山、曾我部、中荃、野沢、福島、安場</p> <p>② 市町村への環境イベントへの参加。 実績無し</p>
	<p>4) 外部機関誌への投稿 昨年度に引き続き、外部機関誌への投稿を通して、環境保全の啓発並びに会の PR を図る。</p> <p>①とちぎ法人会殿 会報 「とちぎ法人会だより」 ②株式会社 井上総合印刷殿 季刊誌 「しもつけの心」</p>	<p>①「とちぎ法人会だより」への投稿 [とちぎ法人会 会報] (2019 年 8 月号) 齊藤 (2020 年 1 月号) 野沢</p> <p>② 季刊誌「しもつけの心」への投稿 [株 井上総合印刷 発行] 都合により投稿を見合わせた。</p>

TECA事業年譜一覧表 (2011年度～2020年度)

2011年度 (平成23年)

月 日	活動内容	場 所	備 考
2011年度 通期	商工会議所等との協働 省エネ取組等PR活動を実施	鹿沼商工会議 所他4団体	従事者:安場,近藤,三浦
	「Power Saving とちぎコンソーシアム」への 参画(環境省補助事業)		従事者:中井
	「農地・水・環境保全向上対策事業」に係 る生き物調査支援	栃木県内	アドバイザー:荒木,伊藤,市川,塩山,中茎,堀 (支援活動件数:26件(23組織))
	(株)東芝メディカルシステムズ (現 キヤノンメディカルシステムズ(株))の生 物多様性に係る取組支援		従事者(打合せ):市川,曾我部 (2011年1月11日,2012年2月16日,3月26 日)
	インターネットによる情報伝達		ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換
4月	定例会前環境学習会(第47回)		講師:秋場
4月	省エネ取組に対する情報発信 「家庭で出来る節電・省エネ実施の具体事 例」		TECA ホームページに掲載 (4月21日:CRT栃木放送で紹介)
4月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:中茎
4月 9日	ECU からの要望事項への提言		「東日本大震災についてECU の行うべき 活動についての意見・提言募集」への対応
4月10日	「TECA NEWS」発行		第33号 (100部NPO 法人10周年記念誌)
5月14日	NPO 法人化10周年 記念講演会 ①工場における環境管理と環境経営シス テム②森の不思議な生き物変形菌	ホテルニュー イタヤ	①講演者:三浦 ②講演者:山崎
6月	「とちぎ法人会だより」への投稿 (とちぎ法人会 会報)		従事者:塩山
6月	定例会前環境学習会(第48回)		講師:今井
6月 3日	宇都宮市交通戦略推進懇談会 22年度分評価検討	宇都宮市	従事者:近藤
6月 6日	とちぎ環境産業技術振興協議会 (総会,各種セミナー等出席)		従事者:中井・安場
6月18日	ホテル探勝会	鹿沼市 「出会いの森」	従事者:市川,秋場,吉田,堀,岡崎,安場,三浦 (参加者:57名)
7月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:塩山
7月	定例会前環境学習会(第49回)		講師:塩山
7月 1日	「TECA NEWS」発行		第34号 100部
7月 9日	政策研究会(定例会終了後) 自然エネルギーについて		「原発に代わる新たなエネルギー政策にな るか」,「自然エネルギー推進の障害及び問 題点」
8月	定例会前環境学習会(第50回)		講師:安場
8月27日	CPD 研修会「産業廃棄物の処理に係る 審査について」	宇都宮市東市 民活動センター	講師:渡邊 (受講生:合計15)
9月6日 9月7日	栃木県主催「EA21セミナー」支援	とちぎ福祉 プラザ	講師:曾我部,吉田,堀,安場 (受講事業者:20社)
9月25日	「もったいないフェア宇都宮2011」 TECA テーマ:「自然を楽しまなくては,もっ たいない」	うつのみや 城址公園	従事者:近藤,秋場,安場,市川三浦,遠藤,堀 (準備 生き物事前採集:吉田,市川,塩山, 堀/果物電池キット製作:吉田)
10月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:曾我部
10月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:塩山
10月～ 1月	栃木県主催「EA21 自治体イニシャティブ プログラム」の支援(4回実施)	とちぎ福祉 プラザ	講師:秋場,今井,曾我部,中井,堀,三浦,安 場,吉田,渡邊(受講事業者:12社)

10月 1日	鬼怒川の自然探勝会in2011 ・自然観察と河川とのふれあい ・治水,利水など河川の利活用	鬼怒川ふれあいビーチ広場	従事者:秋場,安場,荒木,今井,浅海,塩山, 三浦,塩野谷,曾我部 (一般参加者:11名)
10月15日	「TECA NEWS」発行		第35号 100部
10月27日 10月28日	「第2回ECU環境カウンセラー全国交流会」への参画	福島県内	従事者:市川,今井,曾我部,渡邊
11月	定例会前環境学習会(第51回)		講師:市川
11月 6日	夢大地応援団ボランティア活動への参加 (ソバ刈り等)	那須烏山市大木須地区	従事者:近藤,安場,三浦,塩山,中莖
11月 9日	エコキーパー事業所認定審査委員会		委員:安場
11月24日 1月24日	栃木県環境マネジメントシステム(EMS)外部評価委員会	栃木県庁他	従事者:今井 (外部評価委員として参加)
12月 3日 12月 4日	「Eco テック&ライフとちぎ 2011」 『とちぎの生物多様性』“身近な外来種, 移入種を知ろう”	マロニエプラザ	従事者:安場,浅海,曾我部,堀,秋場,渡邊, 塩山,白井,近藤,吉田,塩野谷,三浦(生き 物事前採集:浅海,市川,渡邊)
1月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:塩山
1月 1日	「TECA NEWS」発行		第36号 100部
1月13日	「宇都宮市ISO14001 外部監査」	宇都宮市役所	従事者:黒崎,今井
2月	エフエム栃木「エコラジ」への出演 (TECA の紹介等)		従事者:堀(毎週月曜日 6、13、20、27日 20:55~21:00)
2月24日	宇都宮市交通戦略推進懇談会 24年度分評価検討/戦略見直し	宇都宮市	従事者:近藤
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:浅海
3月19日	災害発生時の生活支援情報の提供 とちぎテレビからの要請		窓口:事務局長

2012年度 (平成 24年)

月 日	活動内容	場 所	備 考
2012年度 通期	とちぎ環境産業技術振興協議会 (メーリングリスト等で情報発信)	—	従事者:中井・安場
	「Power Saving とちぎコンソーシアム」への参画		従事者:中井
	栃木県内の二酸化炭素排出抑制対策事業 (環境省補助事業)		従事者:中井,野沢
	EA21のコンサルティング実施		従事者:秋場
	「農地・水・環境保全向上対策事業」に係る 生き物調査支援	栃木県内	アドバイザー:荒木,伊藤,市川,塩山,中莖,堀 (支援活動件数:14 件)
	平成24 年環境カウンセラー研修 インターネットによる情報伝達	東京	講師:伊藤,ファシリテータ:渡邊 ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換
	(株)東芝メディカルシステムズ からの協力要請生物多様性に係る取組支援 (打合せ・現地調査 15回)		従事者:市川,荒木,曾我部,塩野谷,近藤,安 場,堀
4月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:堀
4月 1日	「TECA NEWS」発行		第37号 150部
5月12日	総会記念講演会 「エネルギーを取り巻く状況と動向について」	ホテルニューイ タヤ	講師: 関東経済産業局資源エネルギー環境 部エネルギー対策課 白井守 氏
6月	定例会前環境学習会(第52回)		講師:近藤
6月11日 7月30日	「省エネ(節電)取組について」研修会(商 工会議所主催)に講師を派遣	鹿沼市商工会 議所(6/11) 宇都宮市商工 会議所(7/30)	講師:吉田

6月14日	ホテル探勝会	鹿沼市 「出会いの森」	従事者:市川,塩山,秋場,吉田,堀,岡崎,安場,三浦(参加者50名)
6月25日	環境講演会「生物多様性について」 (東芝メディカルシステムズ株)		講師:市川
7月	定例会前環境学習会(第53回)		講師:安場
7月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:堀
7月 1日	「TECA NEWS」発行		第38号 150部
8月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:塩野谷
8月	定例会前環境学習会(第54回)		講師:吉田
8月26日	CPD 研修会「食品事業者の環境マネジメントシステムの運用と審査」	宇都宮市東市民活動センター	講師:今井 (受講生:13名)
9月	定例会前環境学習会(第55回)		講師:近藤
9月20日 9月21日	栃木県主催「EA21セミナー」支援	足利市(20日) 宇都宮市(21日)	秋場,渡邊,曾我部,吉田,安場,三浦(受講事業者:約30社)
9月22日	夢大地応援団ボランティア活動への参加 (刈払作業等)	栃木市大柿地区	従事者:堀,三浦,中荃,塩山
9月30日	「もったいないフェア宇都宮2012」 TECA テーマ:「自然を楽しまなくては、もったいない」	うつのみや城址公園	従事者:渡邊,市川,白井,小倉,三浦,塩山,安場,曾我部(準備 生き物事前採集: 吉田,市川,白井,太田)
10月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:堀
10月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:渡邊
10月 5日	「TECA NEWS」発行		第39号 150部
10月14日	鬼怒川の自然探勝会in2012 ・自然観察と河川とのふれあい ・カワラノギクを守る会との共催	鬼怒川平石地区下柳田の河川敷	従事者:秋場,安場,荒木,今井,浅海,塩山,市川,太田(参加者:80名)
10月20日	「布引高原風力発電所視察と福島県環境カウンセラー協会との交流会」		参加者:浅海,市川,小倉,近藤,塩山,塩野谷,曾我部,安場,渡邊
11月	定例会前環境学習会(第56回)		講師:市川,安場,曾我部
11月～ 2月	栃木県環境マネジメントシステム(EMS)外部評価委員会	栃木県庁他	従事者:今井 (外部評価委員として参加)
11月 9日	エコキーパー事業所認定審査委員会	—	委員:安場
11月～ 3月	栃木県主催「EA21 自治体イニシアティブプログラム」の支援(4回実施)	パーティとちぎ男女共同参画センター	講師:秋場,今井,曾我部,中井,堀,三浦,安場,吉田,渡邊,佐々木(受講事業者:11社)
11月16日	「第3回ECU環境カウンセラー全国交流会」への参画	京都国際会議場	従事者:渡邊
12月1日 12月2日	「Eco テック&ライフとちぎ 2012」テーマ:『とちぎの生物多様性』	マロニエプラザ	従事者:渡邊,太田,安場,三浦,曾我部,塩山,白井,近藤,吉田,塩野谷
12月2日	環境教育「環境カウンセラー協会の活動について」		講師:近藤 対象者:宇都宮大学の学生
1月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:堀
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:渡邊
1月 1日	「TECA NEWS」発行		第40号 150部
1月17日	「宇都宮市ISO14001 外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井
3月28日	宇都宮市交通戦略推進懇談会 年度評価検討/戦略見直し	宇都宮市	従事者:近藤

2013年度（平成25年）

月 日	活動内容	場 所	備 考
2013年度 通期	とちぎ環境産業技術振興協議会 (メーリングリスト等で情報発信)	—	従事者:中井・安場
	「Power Saving とちぎコンソーシアム」への参画		従事者:中井(参画者:5名)
	栃木県環境サポート連絡会議 J-クレジットの普及活動		従事者:中井,吉田
	「農地・水・環境保全向上対策事業」に係る生き物調査支援	栃木県内	アドバイザー:荒木,市川,塩山,中荃,堀(支援活動件数:14件)
	インターネットによる情報伝達		ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換
	(株)東芝メディカルシステムズ (現 キヤノンメディカルシステムズ(株))からの協力要請生物多様性に係る取組支援 (打合せ・現地調査 10回)		従事者:市川,荒木,曾我部,塩野谷,堀
4月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:白井
4月25日	「TECA NEWS」発行		第41号 150部
5月11日	総会記念講演会 「東芝メディカルシステムズ(株)の生物多様性の保全活動の推進」	ホテルニューイ タヤ	講 師:東芝メディカルシステムズ(株) 品質環境保証部 松尾昌治参事
6月	定例会前環境学習会(第57回)		講師:森島
6月	とちの環県民会議個人表彰		表彰受賞者:今井
6月	ECU 功労者表彰		表彰受賞者:安場,今井
6月 1日	環境アセスメントシンポジウム 主 催:栃木県弁護士会		従事者:市川(パネラーとして参加)
6月 4日	生き物調査支援アドバイザー研修会		従事者:中荃,塩山,堀,市川
6月22日	ホテル探勝会	那須烏山市横 枕地区小木須 川	従事者:秋場,浅海,市川,塩山,田中, 中荃,堀,三浦,安場,渡邊,曾我部 (参加者100名)
7月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:白井
7月	定例会前環境学習会(第58回)		講師:安場
7月14日	「TECA NEWS」発行		第42号 150部
8月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:中荃
8月	定例会前環境学習会(第59回)		講師:市川
8月24日	CPD 研修会「放射線特定廃棄物の処理 法,除染,放射線の測定方法等」	宇都宮市東市 民活動センター	講師:秋場 (受講生:12名)
9月	定例会前環境学習会(第60回)		講師:近藤
9月 4日 9月 5日	栃木県主催「EA21セミナー」支援		従事者:渡邊,吉田,安場,三浦,五十嵐曾我部 (受講事業者:約21社)
9月12日 3月 6日	とちぎ環境経営サポーター連絡会議	宇都宮市 (9/4) 足利市(9/5)	従事者:中井,吉田
9月29日	「もったいないフェア宇都宮2013」 TECA テーマ:「自然を楽しまなくては,もった いない」	うつのみや城 址公園	従事者:塩山,三浦,五十嵐,安場,曾我部(準 備:塩山,中荃,安場,三浦,太田)
10月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:安場
10月	定例会前環境学習会(第61回)		講師:近藤
10月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:白井
10月12日	「第4回ECU環境カウンセラー全国交流会 」への参画	千葉市「ホテル プラザ菜の花」	従事者:曾我部
10月15日	平成24年環境カウンセラー研修	東京	講師:渡邊,ファシリテータ:塩山,曾我部
10月20日	夢大地応援団ボランティア活動への参加 (草刈作業等)	那須烏山市里 山大木須	従事者:中荃,塩山

11月14日	宇都宮商工会議所創立120周年記念事業「ものづくり展示・相談会」に相談担当者を派遣	マロニエプラザ	相談担当者:安場,中井,三浦,吉田,秋場,渡邊
10月～3月	栃木県主催「EA21 自治体イニシャティブプログラム」の支援(4回実施)	パーティとちぎ男女共同参画センター	講師:三浦,安場,渡邊,中井,堀,吉田,今井,曾我部(受講事業者:11社)
11月26日	「新エネルギー見学会」水土里ネットの小水力発電を見学・学習		参加者:12名
11月	定例会前環境学習会(第62回)		講師:塩山
11月～1月	栃木県環境マネジメントシステム(EMS)外部評価委員会	栃木県庁他	従事者:今井(外部評価委員として参加)
11月 8日	エコキーパー事業所認定審査委員会		委員:安場
12月	定例会前環境学習会(第56回)		講師:渡邊
12月14日	環境教育b「環境カウンセラー協会の活動について」		講師:近藤 対象者:宇都宮大学の学生
11月30日 12月 1日	「Eco テック&ライフとちぎ 2013」テーマ:『栃木県環境カウンセラー協会の活動紹介』	マロニエプラザ	従事者:太田,三浦,塩野谷,伊藤,近藤,白井,中荃,渡邊,安場,市川
1月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:白井
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:岡田
1月 1日	「TECA NEWS」発行		第43号 150部
1月29日	「宇都宮市ISO14001 外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井,黒崎
3月18日	企業とNPOの連携についての発表会 TECAの東芝メディカルシステムズ(株)への支援事業について		従事者:市川
3月19日	宇都宮市交通戦略推進懇談会 年度評価検討/戦略見直し	宇都宮市	従事者:近藤

2014年度(平成26年)

月日	活動内容	場所	備考
2014年度 通期	「Eco to share とちぎ コンソーシアム」への参画		従事者:中井(参画者:8名)
	「多面的機能支払交付金事業」(旧名称:「農地・水保全管理支払交付金事業」)に係る生き物調査支援	栃木県内	アドバイザー:荒木,市川,塩山,中荃,堀(支援活動件数:17件)
	インターネットによる情報伝達		ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換
	(株)東芝メディカルシステムズ那須事業所の生物多様性活動の支援		従事者:荒木,市川,塩野谷,曾我部,堀
4月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:浅海
4月	定例会前環境学習会(第64回)		講師:近藤
4月20日	「TECA NEWS」発行		第44号 各150部
5月10日	総会記念講演会 テーマ1:「35年間の地方議員・国会議員の活動を通じて得たもの,そして残された課題」 テーマ2:「東芝メディカルシステムズ(株)との取組み PART-2」	ホテルニューイタヤ	講師: テーマ1:谷顧問 テーマ2:市川
6月	定例会前環境学習会(第65回)		講師:栃木県農政部農村振興課 和気主幹
6月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:中井
6月	とちの環県民会議個人表彰		今井(カワラノギクの会代表),市川
6月	ECU 功労者表彰		表彰受賞者:渡邊,安場

6月22日	ホテル探勝会 1) 水生生物類の観察と水質検査 2) ホテル探勝会	那須烏山市横 枕地区小木須 川	従事者:秋場,浅海,市川,塩山,堀,三浦,安 場,渡邊(参加者150名)
7月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:浅海
7月	定例会前環境学習会(第66回)		講師:近藤
8月	定例会前環境学習会(第67回)		講師:安場
8月 1日	「TECA NEWS」第45号発行		150部
8月 2日	シンポジウムへの参加「自然エネルギーの 活用について 現状とこれから」	小山市中央図 書館	従事者:近藤
8月23日	CPD 研修会「[ISO14001:2015 年版 改訂情報,及び認証組織の活動実態と環 境活動のポイントについて]」	宇都宮市東市 民活動センター	講師:五十嵐 (受講生:8名)
9月28日	「もったいないフェア宇都宮2014」 TECA テーマ:「お米を識ろう」	うつのみや城 址公園	従事者:太田,岡田,中荃,安場
9月	定例会前環境学習会(第68回)		講師:市川
9月 3日 9月 4日	栃木県主催「EA21セミナー」支援	宇都宮市(3日) 栃木市(4日)	従事者:中井,安場,佐々木,堀,渡邊(受講事 業者:約23社)
10月10日	「TECA NEWS」第46号発行		150部
10月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:浅海
10月~2月	「栃木県庁のEMS 外部評価」の実施	栃木県庁他	従事者:今井,小林
10月19日	秋の鬼怒川の自然探勝会in2014 ・自然観察会と水質検査	鬼怒川平石地 区下柳田の河 川敷	従事者:秋場,今井,太田,佐々木,塩野谷,塩 山,白井,曾我部,田中,中荃,堀,三浦,森島, 安場(参加者:110名)
10月 2日	行政とNPO との交流事業(栃木県の生物 多様性活動について)	栃木県庁	従事者:市川,安場,塩山,中荃
11月22日	夢大地応援団ボランティア活動への参加 (里山遊歩道の整備作業)	茂木町河又地 区「虹色の里あ じ彩」	従事者:浅海,塩山,堀,森島,安場
11月12日	「第5回ECU環境カウンセラー全国交流会 」への参画	名古屋	従事者:塩野谷,渡邊
11月	定例会前環境学習会(第69回)		講師:曾我部
11月11日	エコキーパー事業所認定審査委員会	—	委員:中井
11月 6日	食品の安全をテーマとしてカゴメ(株)那須工 場と生物多様性をテーマとして東芝メデ ィカルシステムズ(株)那須工場を見学	カゴメ(株)那須 工場・東芝メ ディカルシス テムズ(株)那須工 場	従事者:秋場,市川,伊藤,岡田,塩山,白井,安 場
12月	定例会前環境学習会(第70回)		講師:森嶋
12月 6日 12月 1日	「Eco テック&ライフとちぎ 2014」テーマ: 『ボルネオと日本の生物多様性』	マロニエプラザ	従事者:安場,秋場,近藤,太田, 曾我部,塩山,市川,塩野谷,伊藤,岡田,堀,三 浦,渡邊
1月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:浅海
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:伊藤
1月	定例会前環境学習会(第71回)		講師:塩山
1月1日	「TECA NEWS」第43号発行		150部
1月26日	「宇都宮市ISO14001 外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井,黒崎
2月	定例会前環境学習会(第72回)		講師:森島
2月	環境マネジメントシステム取組状況アンケ ート調査の実施		対象:栃木県内25 市町
2月22日	講演会要請への対応 (テーマ:「ごはんを 食べて地球を守ろう」)	平石地区公民 館	従事者:塩山
3月	定例会前環境学習会(第73回)		講師:森島

2015年度（平成27年）

月 日	活動内容	場 所	備 考
2015年度 通期	「Eco to share とちぎ コンソーシアム」への参画		従事者:中井(参画者:8名)
	「多面的機能支払交付金事業」に係る生き物調査支援	栃木県内	アドバイザー:荒木,市川,伊藤,塩山,中荃,堀(支援活動件数:22件)
	インターネットによる情報伝達		ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換
	(株)東芝メディカルシステムズ那須事業所の生物多様性活動の支援等		従事者:荒木,市川,曾我部,堀,安場
4月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:市川
4月	定例会前環境学習会(第74回)		講師:渡邊
4月20日	「TECA NEWS」第48号発行		150部
4月24日 3月22日	宇都宮市交通戦略推進懇談会	宇都宮市	従事者:今井,安場
5月10日	総会記念講演会 テーマ:「うつのみやの生物多様性」	ホテルニューイタヤ	講 師: 塩野谷
6月	定例会前環境学習会(第75回)		講師:中井
5月14日	とちぎ重点振興産業分野協議会定期総会への参加		従事者:中井
6月	とちの環県民会議個人表彰		表彰受賞者:秋場
6月13日	ホテル探勝会 1) 自然観察会(水質調査含む) 2) ホテル探勝会	那須烏山市横枕地区小木須川	従事者:秋場,市川,岡田,佐々木,塩山,白井,堀,三浦,安場,渡邊(参加者170名)
7月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:市川
7月	定例会前環境学習会(第76回)		講師:遠藤
8月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:三浦
8月 1日	「TECA NEWS」第49号発行		150部
8月27日	(一社)福島新エネルギー総合研究所の見学会への参加		従事者:中井
8月22日	CPD 研修会「最近のエネルギー情勢とエネルギー基本計画の概要」	宇都宮市東市民活動センター	講師:吉田(受講生:9名)
8月 8日	「ECU関東Bブロック会議」環境カウンセラー制度改革について	宇都宮市 ホテルニューイタヤ	従事者:市川,今井,遠藤,太田,岡崎,近藤,塩野谷,塩山,中井,堀,三浦,安場,渡邊
9月27日	「もったいないフェア宇都宮2015」TECA テーマ:「お米を識ろう」	うつのみや城址公園	従事者:太田,岡田,塩山,白井,中荃,堀,三浦,安場
9月2日 9月3日	栃木県主催「EA21セミナー」支援	大田原市(9/2) 宇都宮市(9/3)	従事者:堀,中井,渡邊,今井,曾我部,安場(受講事業者:約19社)
10月	定例会前環境学習会(第77回)		講師:市川
10月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:市川
10月 8日 3月4日	とちぎ環境経営サポーター連絡会議		従事者:中井,吉田
8月9日 10月10日	EA21 コンサルタント会議	宇都宮市東市民活動センター	
10月10日	「TECA NEWS」第50号発行		150部
10月25日	鬼怒川の自然探勝会in2015 ・増水後の河川敷の植物・昆虫・鳥の観察, 水生生物と水質調査	鬼怒川平石地区下柳田の河川敷	従事者:市川,今井,佐々木,塩野谷,塩山,田中,中荃,堀,三浦,安場(参加者:140名)
11月12日	エコキーパー事業所認定審査委員会		従事者:中井
11月～ 3月	栃木県主催「EA21 自治体イニシアティブプログラム」の支援(4回実施)	パーティとちぎ男女共同参画センター	講師:秋場,今井,曾我部,三浦,渡邊(受講事業者:6社)

11月21日	「第6回ECU環境カウンセラー全国交流会」への参画	東京	従事者:市川,渡邊
11月~2月	「栃木県庁のEMS 外部評価」の実施	栃木県庁他	従事者:今井
12月	定例会前環境学習会(第78回)		講師:近藤
12月5日~6日	「Eco テック&ライフとちぎ 2015」テーマ:『冬休みはリサイクル工作で!』	マロニエプラザ	従事者:秋場,今井,太田,岡崎,近藤,曾我部,白井,堀,三浦,伊藤,安場,渡邊
1月	定例会前環境学習会(第79回)		講師:安場,塩山
1月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:市川
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:吉田
1月 1日	「TECA NEWS」第51号発行		各150部
1月28日	「宇都宮市ISO14001 外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井,黒崎
2月	定例会前環境学習会(第80回)		講師:中荃
2月 3日	地球温暖化ネットワーク会議への参加(当協会の活動内容を紹介)	宇都宮市保健環境センター	従事者:中井
3月	定例会前環境学習会(第81回)		講師:近藤

2016年度(平成28年)

月日	活動内容	場所	備考
2016年度 通期	「多面的機能支払交付金事業」に係る生き物調査支援	栃木県内	アドバイザー:荒木,市川,伊藤,塩山,中荃,堀(支援活動件数:20件)
	EA21コンサルティング:1件		従事者:中井
	インターネットによる情報伝達		ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換
	(株)東芝メディカルシステムズ 那須事業所の生物多様性活動の支援等		従事者:荒木,市川,曾我部,堀,安場
4月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:塩山
4月	定例会前環境学習会(第82回)		講師:安場
5月 1日	「TECA NEWS」第52号発行		150部
5月10日	総会記念講演会 テーマ:「感染症対策を生物多様性との関係で考える」	ホテルニューイタヤ	講師:近藤
5月16日	とちぎ環境産業技術振興協議会総会への参加		従事者:中井
5月28日	栃木の優れた自然の観察会	渡良瀬遊水地	参加者:市川,小林,塩山,曾我部,堀
6月11日	ホテル探勝会 1) 自然観察会(水質調査含む) 2) ホテル探勝会	那須烏山市横枕地区小木須川	従事者:秋場,市川,佐々木,塩山,中荃,堀,三浦,安場,渡邊(参加者145名)
7月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:塩山
8月	定例会前環境学習会(第83回)		講師:市川
8月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:近藤
8月27日	CPD 研修会「建設業における環境関連法規制」	宇都宮市東市民活動センター	講師:岡崎,堀(受講生:6名)
9月	定例会前環境学習会(第84回)		講師:三浦
9月 1日	「TECA NEWS」第53号発行		150部
10月	定例会前環境学習会(第85回)		講師:塩山
10月18日 3月22日	とちぎ環境経営サポーター連絡会議		従事者:中井,吉田
10月16日	鬼怒川の自然探勝会in2016 ・増水後の河川敷の植物・昆虫・鳥の観察, 水生生物と水質調査	鬼怒川平石地区下柳田の河川敷	従事者:秋場,市川,今井,太田,中荃,佐々木,塩山,曾我部,三浦,安場(参加者:175名)
11月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:塩山
11月28日	エコキーパー事業所認定審査委員会		委員:中井

11月30日	平成28年度環境カウンセラー研修 (関東地区)支援	オリンピック記念青少年総合センター	従事者:塩野谷,曾我部
11月~ 12月	「栃木県庁のEMS 外部評価」の実施	栃木県庁他	従事者:小林
12月	定例会前環境学習会(第86回)		講師:近藤
12月3日 12月4日	「Eco テック&ライフとちぎ 2016」テーマ: 『外来生物とどう付き合う!』	マロニエプラザ	従事者:市川,今井,太田,近藤 塩野谷,白井,曾我部,安場,岡田,塩山,中荃, 堀,渡邊
1月	定例会前環境学習会(第87回)		講師:近藤
1月	季刊誌「しもつけの心」への投稿		従事者:塩山
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:今井
1月 1日	「TECA NEWS」第54号発行		150部
1月30日	「宇都宮市ISO14001 外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井,黒崎
2月4日	EA21 コンサルタント会議(EA21 ガイドライン(2017年版)の内容確認等)	宇都宮市東市民活動センター	出席者:7名
2月6日	平成28年度多目的支払交付金に係るステップアップ推進講座への参加		従事者:秋場,市川,塩山,中荃
2月14日	地球温暖化ネットワーク会議への参加 「TECA の活動報告等」	宇都宮市保健環境センター	従事者:中井
2月25日	夢大地応援団ボランティア活動への参加 (イノシシ等獣害防止柵設置作業)	那須烏山市大木須下地区	従事者:塩山・中荃・安場
3月	定例会前環境学習会(第88回)		講師:塩山
3月22日	宇都宮市交通戦略推進懇談会	宇都宮市	従事者:安場

2017年度(平成29年)

月 日	活動内容	場 所	備 考
2017年度 通期	「多面的機能支払交付金事業」に係る生き物調査支援	栃木県内	アドバイザー:荒木,市川,伊藤,塩山,中荃,堀 (支援活動件数:21件)
	インターネットによる情報伝達		ホームページによる情報発信 メールリストによる会員情報交換
	キャノンメディカルシステムズ(株)那須事業所の生物多様性活動の支援等		従事者:荒木,市川,曾我部,安場
5月 1日	「TECA NEWS」第52号発行		200部
5月14日	総会記念講演会 テーマ:「当法人における自然観察会の取組について」	ホテルニューイタヤ	講 師:塩山
6月10日	ホテル探勝会 1) 自然観察会(水質調査含む) 2) ホテル探勝会	那須烏山市横枕地区小木須川	従事者:秋場,市川,佐々木,塩山 中荃,堀,三浦,安場,渡邊(参加者150名)
6月	とちの環県民会議個人表彰		表彰受賞者:堀
7月	定例会前環境学習会(第89回)		講師:市川
8月	定例会前環境学習会(第90回)		講師:市川
8月19日	CPD 研修会「経営管理の戦略,CSR 活動,TPM活動と事例,省エネ改善事例,ロスゼロ改善の事例等について」	宇都宮市東市民活動センター	講師:曾我部・今井 (受講生:8名)
9月 1日	「TECA NEWS」第56号発行		200部
9月21日	新エネルギー見学会 (技術士会との共同見学会)	NEXCO東日本バイオマス発電プラント	従事者:市川,福島
9月22日 9月23日	「第8回環境カウンセラー全国交流会」	北海道札幌市	従事者:市川
10月	定例会前環境学習会(第91回)		講師:塩山

10月～12月	「栃木県庁のEMS 外部評価」の実施	栃木県内各現地施設18施設	従事者:小林
10月12日	「EA21普及セミナー」支援 (主催:EA21地域事務局とちぎ)	宇都宮商工会議所	講師:今井・曾我部(受講事業者:7社)
10月23日	「平成29 年度環境カウンセラー研修(関東地区)支援」	オリンピック記念青少年総合センター	従事者:曾我部
11月～2月	栃木県主催「EA21 自治体イニシアティブプログラム」の支援(4回実施)	宇都宮商工会議所	講師:今井・岡崎・中井・三浦・渡邊(受講事業者:5社)
11月14日	エコキーパー事業所認定審査委員会	栃木県庁	委員:中井
11月3日 11月4日	「Eco テック&ライフとちぎ 2017」テーマ:『地球温暖化問題及びいきものの北上について,生き物の展示』	マロニエプラザ	従事者:市川,今井,太田,近藤 塩野谷,白井,曾我部,安場,岡田,塩山,中荃,堀,渡邊
11月25日	EA21 コンサルタント会議		従事者:今井・中井(出席者:9名)
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:五十嵐
1月1日	「TECA NEWS」第57号発行		200部
1月23日	「エネルギー使用合理化シンポジウム」	東京都品川区総合区民会館	講師:野沢
1月26日	「宇都宮市ISO14001 外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井,黒崎
2月3日	「EA21審査人力量向上研修会」支援	宇都宮市総合コミュニティセンター	従事者:コーディネーター(安場) (参加者:12名)
2月6日	平成29 年度多目的支払交付金に係るステップアップ推進講座への参加	栃木県総合文化センター	従事者:塩山,中荃
2月16日	「EA21ガイドライン2017 年版事業者向け説明会」支援	栃木県護国国会館	講師:今井,渡邊 相談員:中井,秋場,曾我部 (参加:73名48社)
3月20日	宇都宮市交通戦略推進懇談会	宇都宮市役所	従事者:安場
2月17日	環境カウンセラー-ESD 学会への出席	新潟薬科大学	従事者:発表(市川)
3月	定例会前環境学習会(第92回)		講師:安場
3月9日	とちぎ地域企業応援ネットワークへの参加 (経産省関連支援策等の説明)	栃木県庁	従事者:中井

2018年度(平成30年)

月日	活動内容	場所	備考
2018年度 通期	「多面的機能支払交付金事業」に係る生き物調査支援 インターネットによる情報伝達 キャノンメディカルシステムズ(株)那須事業所の生物多様性活動の支援等	栃木県内	アドバイザー:荒木,市川,伊藤,塩山,中荃,堀 (支援活動件数:24件) ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換 従事者:荒木,市川,曾我部,安場 塩山,福島(いきもの観察会参加者:80名)
5月1日	「TECA NEWS」第58号発行		250部
5月15日	とちぎ環境産業技術振興協議会総会への参加	東日本ホテル	従事者:中井
5月20日	総会記念講演会(田んぼ周りの生き物調査取組経過と成果,今後の課題)	ホテルニューイタヤ	講師:水谷正一 宇都宮大学 名誉教授
6月16日	ホテル探勝会 1) 自然観察会(水質調査含む) 2) ホテル探勝会	那須烏山市横枕地区小木須川	従事者:秋場,市川,佐々木,渡邊 岡田,塩野谷,塩山,曾我部(参加者130名)
6月	とちの環県民会議個人表彰		表彰受賞者:塩山
8月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:堀
8月	定例会前環境学習会(第93回)		講師:秋場
8月～3月	宇都宮市交通戦略推進懇談会(4回開催)	市役所関係施設	従事者:塩山,今井

8月18日	CPD 研修会「①環境関連法規(産業廃棄物)②省エネ関連(研究事例,省エネ補助金)」	宇都宮市東市民活動センター	講師:渡邊,中井 (受講生:8名)
9月1日	「TECA NEWS」第59号発行		250部
9月14日	日光湯の湖と中禅寺湖の水質問題,さかなと森の観察園視察研修会	日光湯の湖と中禅寺湖	従事者:市川,太田,岡田,葛谷,齋藤,塩野谷,塩山,曾我部,中茎,福島(参加者:13名)
10月	定例会前環境学習会(第94回)		講師:野沢
10月11日	「EA21普及セミナー」支援	宇都宮商工会議所	講師:今井・中井(受講事業者:9社)
10月29日	鬼怒川自然観察会in2018(河川敷の植物・昆虫・鳥の観察,水生生物と水質調査)	鬼怒川平石地区下柳田の河川敷	従事者:秋場,市川,今井,佐々木,塩野谷,塩山,曾我部,福島(参加者:140名)
11月20日	エコキーパー事業所認定審査委員会	—	委員:中井
11月~2月	栃木県主催「EA21 自治体イニシャティブプログラム」の支援	宇都宮商工会議所	講師:今井・岡崎・秋場・曾我部・渡邊(受講事業者:5社)
11月~2月	「栃木県庁のEMS 外部評価」の実施	栃木県内各現地施設18施設	従事者:秋場
11月23日	夢大地応援団ボランティア活動への参加(獣害防止柵の設置作業)	塩谷町鳥羽新田地区	従事者:中茎,塩山
12月2日	「Eco テック&ライフとちぎ 2018」テーマ:『こんな活動を私たちと一緒にしませんか?』	マロニエプラザ	従事者:秋場,市川,伊藤,今井,太田,岡田,近藤,齋藤,佐々木,塩野谷,塩山,曾我部,野沢,福島,安場
1月1日	「TECA NEWS」第60号発行		250部
1月15日	環境カウンセラー研修会への支援	オリンピック記念青少年総合センター	従事者:齋藤
1月28日	「宇都宮市環境マネジメントシステム(もったいないEMS)外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井,黒崎
2月9日	「SDGs講演会」 ・基調講演:今井麻希子氏 テーマ「SDGs から読み解く未来に向けた社会づくり」 ・パネルディスカッション「SDGsを事例で考える」(パネラー:宇都宮大学教授;陣内雄次氏,カルビー株式会社;部長二宮かおる氏,スマイル日光プロジェクト:小栗 卓氏)	コンセール(栃木県青年会館)	後援:環境省・栃木県他9団体 従事者:秋場,近藤,安場,今井,齋藤,塩野谷,市川,塩山,岡田,太田,佐々木,福島,曾我部,岡崎(参加者:138名)
2月21日	とちの環県民会議見学会への参加 内容:廃棄物の循環利用施設見学		従事者:秋場・近藤・齋藤・安場
3月4日	「社内省エネルギー特別研修」の講師	キヤノンメディカルシステムズ(株)	講師:野沢(参加者:130名)
3月9日	EA21 コンサルタント会議(EA21 建設業者向けガイドライン(2017年版)の内容確認)	宇都宮市東市民活動センター	従事者:今井(出席者:6名)
3月22日	第1回環境カウンセラー環境保全活動表彰(低炭素社会貢献賞)	環境省	表彰受賞者:市川
2月23日	「EA21審査人力量向上研修会」支援	宇都宮市総合コミュニティセンター	従事者:コーディネーター(今井) (参加者:10名)
3月26日	・「EA21建設業者向けガイドライン2017年版説明会」支援	宇都宮商工会議所	講師:今井,中井(参加:17名14社)

2019年度（平成31年／令和元年）

月 日	活動内容	場 所	備 考
2019年度 通期	「多面的機能支払交付金事業」に係る生き物調査支援 「宇都宮市SDGs 人づくりプラットフォーム」会員登録 環境省「つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト」への加盟 インターネットによる情報伝達 キャノンメディカルシステムズ(株) 那須事業所の生物多様性活動の支援等	栃木県内	アドバイザー:荒木,市川,伊藤,塩山,中荃,堀 (支援活動件数:21 件) ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換 従事者荒木,市川,曾我部,安場 塩山,福島,斎藤,佐々木(いきもの観察会参加者:100名)
5月1日	「TECA NEWS」第61号発行		250部
5月19日	総会記念講演会 テーマ:「温暖化と疾病について」副題「温暖化の影響と感染症」	ホテルニューイタヤ	講師:齊藤
6月	とちの環県民会議個人表彰		表彰受賞者:塩野谷
6月10日	福島第一原子力発電所見学(廃炉作業の見学)	東京電力福島第一原子力発電所	従事者:秋場,市川,今井,太田,岡崎,岡田,近藤,齊藤,佐々木,塩山,塩野谷,白井,曾我部,中井,中荃,野沢,三浦,福島,安場
6月8日	ホテル探勝会 1) 自然観察会(水質調査含む) 2) ホテル探勝会	那須烏山市横枕地区小木須川	従事者:秋場,佐々木,渡邊,齊藤,塩野谷,塩山,曾我部(参加者117名)
7月	定例会前環境学習会(第95回)		講師:近藤
7月19日 1月31日	地球温暖化ネットワーク会議への参加	地球温暖化防止活動推進センター	従事者:塩野谷,塩山
8月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:齊藤
8月	定例会前環境学習会(第96回)		講師:今井
8月7日	CPD 研修会「①公害関連環境法規②環境測定分析技術③審査技」	宇都宮市東市民活動センター	講師:佐々木・秋場・今井 (受講生:9名)
8月21日	日光清流清湖保全協議会主催の「中禅寺湖 湖上学習会」への支援	中禅寺湖,地獄沢	従事者:塩山,佐々木
8月21日 9月18日 10月23日 11月20日	事業所向け「省エネセミナー」の開催 第1回:「省エネの基本」「省エネ法」 第2回:省エネの着眼点と有効事例 第3回:「効率良い省エネの進め方」 第4回:「原単位の考え方と省エネ解析のやり方」	栃木県産業会館(第1回) 栃木総合文化センター(第2回以降)	従事者:野沢・曾我部 第1回目:受講者:21 名 第2回目:受講者:32 名 第3回目:受講者:19 名 第4回目:受講者:33 名
9月1日	「TECA NEWS」第62号発行		250部
9月7日	とちの環県民会議の研修会(SDGsに視る自立社会の動向を概観する)	とちぎボランティアNPOセンター	従事者:斎藤
9月14日	日光湯の湖と中禅寺湖の水質問題並びに『さかなと森の観察園』視察研修会	日光湯の湖と中禅寺湖	従事者:市川,太田,岡田,葛谷,斎藤,福島他 (参加者:13名)
10月	定例会前環境学習会(第97回)		講師:関東地方ESD活動支援センター伊藤氏
10月10日	「EA21普及セミナー」支援	宇都宮商工会議所	講師:今井,渡邊(受講事業者:5社)
10月27日	鬼怒川自然観察会in2019(河川敷の植物・昆虫・鳥の観察,水生生物と水質調査)	鬼怒川平石地区下柳田の河川敷	従事者:秋場,今井,佐々木,中荃,塩山,曾我部,福島,安場(参加者:190名)
11月~ 2月	栃木県主催「EA21 自治体イニシャティブプログラム」の支援	宇都宮商工会議所	講師:今井,曾我部,渡邊,中井,岡崎(受講事業者:4社)

11月～ 2月	「栃木県庁のEMS 外部評価」の実施	栃木県内各現 地施設18施設	従事者:堀,秋場
11月30日	「Eco テック&ライフとちぎ 2019」テーマ: 『栃木県環境カウンセラー協会の活動紹介』	マロニエプラザ	従事者:秋場,今井,太田,安場,岡田,近藤,齊藤,佐々木,塩山,曾我部,中荃,野沢,福島,安場
12月	定例会前環境学習会(第98回)		講師:近藤
1月1日	「TECA NEWS」第63号発行		250部
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:野沢
1月11日	環境学習会(第99回) 焼却場とリサイクルプラザ見学	クリーンパーク 茂原清掃工場	参加者:市川・岡田・斎藤・塩山 塩野谷・曾我部
1月28日	「宇都宮市環境マネジメントシステム(も ったいないEMS)外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井,佐々木
2月21日	とちの環県民会議見学会への参加 廃棄物の循環利用施設見学 ・ジャパンテック 宇都宮工場 ・日環リサイクルワールド	鹿沼市,壬生町	従事者:秋場,齊藤,塩山
2月27日	「事業者向けの省エネセミナー」 ①省エネの基礎,②省エネを効率よ く進める秘訣	キャノンメディ カルシステム ズ(株)	講師:野沢
2月15日	「EA21審査人力量向上研修会」支援	宇都宮商工会 議所	従事者:コーディネーター(今井) (参加者:11名)

2020年度(令和2年)

月 日	活動内容	場 所	備 考
2020年度 通期	「多面的機能支払交付金事業」に係る生き 物調査支援	栃木県内	アドバイザー:荒木,塩山,中荃,堀(支援活動 件数:7件)
	宇都宮市都市交通戦略推進懇談会(開催 中止のためアンケートに回答)		従事者:塩山
	「宇都宮市SDGs 人づくりプラットフォーム」への参加		
	環境省「つなげよう,支えよう森里川海プロ ジェクト		メールによる情報交換を実施
	インターネットによる情報伝達		ホームページによる情報発信 メーリングリストによる会員情報交換
	キャノンメディカルシステムズ(株)那須事業 所の生物多様性活動の支援等		従事者:荒木,塩山,曾我部,安場,市川,高橋 先生
5月1日	「TECA NEWS」第64号発行		250部
6月	とちの環県民会議個人表彰		表彰受賞者:佐々木
8月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:野沢
11月～ 2月	栃木県主催「EA21 自治体イニシャティブ プログラム」の支援	宇都宮商工会 議所	講師:秋場・今井・曾我部・渡邊 中井・岡崎(受講事業者:6社)
11月～ 2月	「栃木県庁のEMS 外部評価」の実施	栃木県内各現 地施設18施設	従事者:小林,堀,秋場
1月	「とちぎ法人会だより」への投稿		従事者:佐々木
1月1日	「TECA NEWS」第65号発行		250部
1月19日	「宇都宮市環境マネジメントシステム(もっ たいないEMS)外部監査」	宇都宮市役所	従事者:今井,佐々木
1月27日	地球温暖化ネットワーク会議への参加	地球温暖化防 止活動推進セ ンター	従事者:齊藤
2月20日	「EA21審査人力量向上研修会」支援	宇都宮商工会 議所	コーディネーター:今井(参加者:12名)
3月16日	関東ESD 活動支援センター主催事業へ の参画オンラインによる研修会に参加)		

TECA 役員の履歴

2020年6月 改訂

【任意団体】 (1998～2000年の3年間の役員体制)

会長 栗原貞夫
 副会長 (2名) 浅海瑛二、大川泰弘
 幹事 (6名) 佐藤孝二、広瀬和行、福島義隆、森島啓司、堀 誠、近藤和雄 (2000年は広瀬に代わり 黒崎由行)
 監事 (2名) 小塚堅樹、山本 諭

NPO法人化後の役員名簿 NO1

職名	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
理事長	栗原 貞夫	佐藤 孝二	佐藤 孝二	近藤 和雄	近藤 和雄				
副理事長	浅海 瑛二	大川 泰弘	大川 泰弘	大田 達彦	大田 達彦	大田 達彦	大田 達彦	秋場 泉介	秋場 泉介
副理事長	大川 泰弘	野口 三郎	野口 三郎	神山 信正	神山 信正	近藤 和雄	近藤 和雄	安場 博	安場 博
専務理事	佐藤 孝二	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠
理事	黒崎 由行	大田 達彦	大田 達彦	秋場 泉介	秋場 泉介	秋場 泉介	秋場 泉介	今井 信行	今井 信行
理事	福島 義隆	神山 信正	神山 信正	今井 信行	今井 信行	浅海 瑛二	浅海 瑛二	大田 達彦	大田 達彦
理事	森島 啓司	黒崎 由行	黒崎 由行	黒崎 由行	黒崎 由行	今井 信行	今井 信行	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子
理事	堀 誠	福島 義隆	福島 義隆	近藤 和雄	近藤 和雄	荻野 陽子	荻野 陽子	中井嘉一郎	中井嘉一郎
理事	近藤 和雄	広瀬 和行	広瀬 和行	福島 義隆	福島 義隆	黒崎 由行	黒崎 由行	中茎 元一	中茎 元一
理事	野口 三郎	近藤 和雄	近藤 和雄	安場 博	安場 博	安場 博	安場 博	渡邊 重宣	渡邊 重宣
監事	小塚 堅樹	小塚 堅樹	小塚 堅樹	野口 三郎	野口 三郎	野口 三郎	野口 三郎	浅海 瑛二	浅海 瑛二
監事	山本 諭	葛谷 理子	葛谷 理子	葛谷 理子	葛谷 理子	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子	荻野 陽子	荻野 陽子
P J 長						市川 恭治	市川 恭治	市川 恭治	市川 恭治
P J 長						田中 広	田中 広		
事務局長	白井 啓	白井 啓	白井 啓	三浦 四郎	三浦 四郎	三浦 四郎	三浦 四郎	三浦 四郎	三浦 四郎
事務局次長				岡崎 浩司	岡崎 浩司	岡崎 浩司	岡崎 浩司	岡崎 浩司	岡崎 浩司
事務局次長						白井 啓	白井 啓	白井 啓	白井 啓

NPO法人化後の役員名簿 NO2

職名	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
理事長	近藤 和雄	近藤 和雄	近藤 和雄	近藤 和雄	安場 博	安場 博	安場 博	安場 博	塩山 房男	塩山 房男	塩山 房男
副理事長	秋場 泉介	秋場 泉介	安場 博	安場 博	塩山 房男	塩山 房男	塩山 房男	塩山 房男	今井 信行	今井 信行	今井 信行
副理事長	安場 博	安場 博	渡邊 重宣	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子					
専務理事	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠	堀 誠
理事	市川 恭治	市川 恭治	秋場 泉介	秋場 泉介	大田 達彦	大田 達彦	大田 達彦	大田 達彦	市川 恭治	市川 恭治	市川 恭治
理事	今井 信行	今井 信行	市川 恭治	市川 恭治	中井嘉一郎	中井嘉一郎	中井嘉一郎	中井嘉一郎	岡田 正幸	岡田 正幸	岡田 正幸
理事	大田 達彦	大田 達彦	今井 信行	佐々木英治	佐々木英治	佐々木英治					
理事	中井嘉一郎	中井嘉一郎	大田 達彦	大田 達彦	市川 恭治	市川 恭治	市川 恭治	市川 恭治	曾我部二郎	曾我部二郎	曾我部二郎
理事	中荻 元一	中荻 元一	塩山 房男	塩山 房男	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子	福島 義隆	福島 義隆	福島 義隆
理事	渡邊 重宣	渡邊 重宣	中井嘉一郎	中井嘉一郎	曾我部二郎	曾我部二郎	曾我部二郎	曾我部二郎	安場 博	安場 博	安場 博
監事	浅海 英二	浅海 英二	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子	近藤 和雄	岡崎 浩司					
監事	塩野谷ふじ子	塩野谷ふじ子	吉田 正夫	岡田 正幸							
事務局長	三浦 四郎	堀誠 兼務									
執行役	岡崎 浩司	岡崎 浩司	浅海 英二	浅海 英二	岡崎 浩司	中荻 元一	岡田 正幸	岡田 正幸	渡邊 重宣	渡邊 重宣	渡邊 重宣
執行役	白井 啓	白井 啓	岡崎 浩司	岡崎 浩司	中荻 元一	秋場 泉介	白井 啓	白井 啓	秋場 泉介	秋場 泉介	秋場 泉介
執行役	遠藤 和信	遠藤 和信	白井 啓	白井 啓	秋場 泉介		中荻 元一	中荻 元一	小林 進一	小林 進一	小林 進一
執行役	荻野 陽子	荻野 陽子	遠藤 和信	遠藤 和信			秋場 泉介	秋場 泉介	白井 啓	白井 啓	白井 啓
執行役	小林 有一	吉田 正夫	荻野 陽子	荻野 陽子			佐々木英二	佐々木英二	中荻 元一	中荻 元一	中荻 元一
執行役	塩山 房男	塩山 房男	曾我部二郎	曾我部二郎			小林 進一	小林 進一	三浦 四郎	三浦 四郎	三浦 四郎
執行役	曾我部二郎	曾我部二郎	中荻 元一	中荻 元一					野沢 定雄	野沢 定雄	野沢 定雄
執行役	野沢 定雄	野沢 定雄	野沢 定雄	野沢 定雄					齋藤 好弘	齋藤 好弘	齋藤 好弘
執行役											荒木 淳一

※2010年度から執行役制度導入
2020年は創立20周年記念になる

各種表彰 受賞者一覧

1) TECA功労者表彰

2006年：葛谷理子、福島義隆
2010年：太田竜彦、三浦四郎、岡崎浩司、白井 啓
2012年：浅海瑛二、中茎元一
2013年：安場 博、渡邊重宣
2014年：曾我部二郎
2017年：市川恭治、今井信行、塩山房男
2018年：塩野谷ふじ子、中井嘉一郎
2019年：吉田正夫

2) TECA永年功績者表彰（2008年）

佐藤孝二、近藤和雄、野口三郎、黒崎由行、堀 誠

3) TECA 創設10周年特別表彰（2009年）

栗原貞夫、浅海瑛二、佐藤孝二、福島義隆、森島啓司、堀 誠、近藤和雄、小塚堅樹、山本 諭

4) TECA NPO法人化10周年特別表彰（2011年）

栗原貞夫、野口三郎、佐藤孝二

5) ECU 表彰

2012年：近藤和雄、堀 誠
2013年：安場 博、渡邊重宣

6) 環境大臣表彰 地域環境保全功労者

2012年：栗原貞夫、葛谷理子
2015年：中茎元一、近藤和雄
2019年：市川恭治

7) とちの環県民会議 環境保全個人表彰

2010年：葛谷理子
2011年：山崎 晃
2012年：小塚堅樹
2013年：中茎元一、近藤和雄
2014年：市川恭治
2015年：浅海瑛二、秋場泉介
2017年：堀 誠
2018年：塩山房男
2019年：塩野谷ふじ子
2020年：佐々木英治

8) とちの環県民会議 環境保全団体表彰

2014年：今井信行（平石地区鬼怒川カワラノギクを守る会）

NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会・会員名簿（2017年6月）

No.	部門（登録年度）		氏名	住居地	No.	部門（登録年度）		氏名	住居地
1	市民・事業者	1998	秋場泉介	宇都宮市	26	事業者	2006	野沢定雄	下野市
2	市民・事業者	1996	浅海瑛二	宇都宮市	27	事業者	1996	福島義隆	小山市
3	市民	2004	荒木淳一	宇都宮市	28	事業者	1997	堀 誠	日光市
4	一般		五十嵐敏夫	さくら市	29	事業者	2003	三浦四郎	宇都宮市
5	市民・事業者	2004	市川恭治	宇都宮市	30	事業者	2001	安場 博	宇都宮市
6	市民	2004	伊藤延子	大田原市	31	市民	2000	山崎 晃	鹿沼市
7	事業者	2003	今井信行	宇都宮市	32	一般		山田美也子	宇都宮市
8	事業者		太田達彦	宇都宮市	33	事業者	2006	湯澤隆一	日光市
9	事業者	1997	岡崎浩司	さくら市	34	事業者		吉田正夫	下野市
10	一般		岡田正幸	宇都宮市	35	事業者	2006	渡邊重宣	宇都宮市
11	一般		小倉弘行	宇都宮市					
12	市民	1997	葛谷理子	宇都宮市					
13	事業者	1996	黒崎由行	宇都宮市					
14	事業者	2008	小林進一	小山市					
15	市民	1996	近藤和雄	野木町					
16	事業者		近藤幹夫	足利市					
17	事業者	2001	佐々木英二	宇都宮市					
18	市民	2003	塩野谷ふじ子	宇都宮市					
19	市民	2008	塩山房男	宇都宮市					
20	事業者	1997	白井 啓	宇都宮市					
21	事業者	2007	曾我部二郎	宇都宮市					
22	事業者		刀川好一	壬生町					
23	事業者	2004	中井嘉一郎	那須塩原市					
24	市民	2005	中荃元一	宇都宮市					
25	事業者		野口三郎	足利市					

分類	人数	
事業者	18名	事業者部門
市民	8名	市民部門
市民・事業者	3名	事業者・市民部門
	2名	元環境カウンセラー
	4名	一般会員
合計	35名	

注1) 2021年6月現在 2 浅海、4 五十嵐、8 太田、13黒崎、25野口、31山崎、33湯澤、7名退会

注2) 2021年6月現在、2017年以降新規加入 4名

勝沼孝弘（賛・足利市）

齊藤好広（事・宇都宮市）

高橋伸拓（一般・さくら市）

山本義紀（事・足利市）

以上の退会、新規加入により、2021年6月現在 会員29名、賛助会員3名、計32名

NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会の会員名簿(2011年5月14日)

No.	部門 (登録年度)	氏名	住居地	No.	部門 (登録年度)	氏名	住居地		
1	事業者	2002	赤平達也	那須塩原市	37	市民	2001	森本久子	宇都宮市
2	市民・事業者	1998	秋場泉介	宇都宮市	38	市民	1996	森山良一	日光市
3	市民・事業者	1996	浅海瑛二	宇都宮市	39	市民		八木橋一幸	芳賀郡二宮町
4	市民	2004	荒木淳一	宇都宮市	40	事業者	2001	安場 博	宇都宮市
5	事業者	2009	安納康栄	宇都宮市	41	事業者		矢吹勝次	真岡市
6	市民	2001	池田昌代	日光市	42	市民	2000	山崎 晃	鹿沼市
7	市民・事業者	2008	市川恭治	宇都宮市	43			山田美也子	宇都宮市
8	事業者	2004	伊藤延子	大田原市	44	事業者	1997	山本 諭	下野市
9	事業者	2003	今井信行	宇都宮市	45	事業者	2006	湯澤隆一	日光市
10	市民	2001	遠藤和信	宇都宮市	46	事業者	2006	渡邊重宣	宇都宮市
11	事業者	1997	太田達彦	宇都宮市					
12	市民	2000	岡川秀則	宇都宮市					
13	事業者	2003	岡崎浩司	宇都宮市					
14	市民	2002	荻野陽子	那須塩原市					
15	事業者	1999	刀川好一	下都賀郡壬生町					
16	事業者	1996	栗原貞夫	日光市					
17	事業者	1996	黒崎由行	宇都宮市					
18	市民	1997	小塚堅樹	宇都宮市					
19	事業者	2008	小林進一	小山市					
20	市民	1996	近藤和雄	下都賀郡野木町					
21	事業者	2001	佐々木英二	宇都宮市					
22	市民	2003	塩野谷ふじ子	宇都宮市					
23	市民	2008	塩山房男	宇都宮市					
24	事業者	1997	白井 啓	宇都宮市					
25	事業者	1997	菅野武彦	宇都宮市					
26	市民	1997	菅谷理子	宇都宮市					
27	事業者	2007	曾我部二郎	宇都宮市					
28	事業者	2004	中井嘉一郎	那須塩原市					
29	市民	2005	中茎元一	宇都宮市					
30			中村勇夫	宇都宮市					
31	事業者		野口三郎	足利市					
32	事業者	2006	野沢定雄	下野市					
33	事業者	1996	福島嘉隆	小山市					
34	事業者	1997	堀 誠	日光市					
35	事業者	2003	三浦四郎	宇都宮市					
36	事業者	1996	森嶋啓司	宇都宮市					

分類	人数	
事業者	23名	事業者部門
市民	15名	市民部門
市民・事業者	3名	事業者・市民部門
	3名	元環境カウンセラー
	2名	一般会員
合計	46名	

分類	人数	
那須塩原市	3名	
大田原市	1名	
宇都宮市	27名	
日光市	5名	
鹿沼市	1名	
真岡市	1名	
二宮町	1名	
壬生町	1名	
下野市	2名	
足利市	1名	
小山市	2名	
野木町	1名	
合計	46名	

TECAとともに環境社会の道標

環境年表

理事 斎藤好広

西暦(和暦)	環境関連の出来事	法律制定等	国・その他の出来事	栃木の出来事
1989(平成元年)	アルシユ・サミット(初の環境サミット)開催 モントリオール議定書発効	水質汚濁防止法改正(地下水汚染の未然防止等を制度化)ヘルシンキ宣言(フロン2000年全廃)	消費税3%スタート	マロニエプラザ完成
1990(平成2年)	国立公害研究所を国立環境研究所に改組 地球温暖化防止行動計画が閣議決定	スパイクタイヤ禁止法制定(粉塵防止)	夕張炭鉱閉山	
1991(平成3年)	再生資源利用促進法が公布	「資源リサイクル法」	雲仙・普賢岳火山砕流	日光自然博物館オープン
1992(平成4年)	環境と開発に関する国連会議(地球サミット)が開催(リオデジャネイロ) 持続可能な開発のための人類の行動計画アジェンダ21の採択 バーゼル条約発効	自動車NOx法制定 種の保存法制定(絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律) 気候変動枠組条約及び生物多様性条約署名	バブル崩壊で不況深刻化	
1993(平成5年)	環境基本法公布・施行(公害対策基本法廃止)	省エネ法改正 6月5日は環境の日	北海道南西沖地震奥尻島津波災害	栃木県グリーンスタジアム完成
1994(平成6年)	気候変動枠組条約が発効		記録的な猛暑と水不足・渇水	エフエム栃木開局
1995(平成7年)	気候変動枠組条約第1回締約国会合ドイトン開催	容器包装リサイクル法(分別収集・再商品化)	阪神・淡路大震災	第10回国民文化祭・とちぎ95開催
1997(平成9年)	地球温暖化防止京都会議(COP3)で京都議定書が採択	「環境影響評価法」	動燃爆発事故 茨城県東海村	県人口200万人を超える とちぎ健康の森オープン
1998(平成10年)	家電リサイクル法が公布	省エネ法改正	長野オリンピック	8月末豪雨災害
1999(平成11年)	温暖化対策推進法が施行	「ダイオキシン類対策特別措置法」「PRTR法(化学物質の管理)」「循環型社会形成推進基本法」「廃棄物処理法:改正」「建設リサイクル法」ほか	東海村核燃料加工会社で国内初の臨界事故	とちぎテレビ開局 「日光の杜寺」世界遺産登録
2000(平成12年)	循環型社会形成推進基本法が公布 グリーン購入法が公布 食品リサイクル法が公布	生物多様性に関する条約のバイオセーフティに関するカルタヘナ議定書採択	2000年問題(デジタル機器対応) 有珠山と三宅島が噴火、鳥取西部で大地震	マロニエとちぎ緑花祭開催 日光田母沢御用邸記念公園オープン
2001(平成13年)	環境庁から環境省へ再編	「PCB特別措置法」「フロン回収破壊法」	国内初のBSE感染牛が確認	なかがわ水遊園開設 TECA創設
2002(平成14年)	自動車リサイクル法が公布 持続可能な開発に関する世界首脳会議が開催(ヨハネスブルク)	「エネルギー政策基本法」「土壌汚染対策法」「温暖化対策推進法」「新エネ法(RPS法再生可能エネルギー利用)」省エネ法改正	全国初の歩きタバコ禁止条例(千代田区) 日韓ワールドカップ開催	
2005(平成17年)	京都議定書が発効	省エネ法改正	愛知万国博覧会 クールビズ開始	奥日光湿原ラムサール条約登録
2006(平成18年)	石綿による健康被害の救済に関する法律が制定	「アスベスト新法」(1975年吹付けアスベスト禁止)	日本の人口減少局面に少子高齢化が一段と進行	絶滅危惧種サクランボ科の多年草「トウサワトラノオ」発見

西暦(和暦)	環境関連の出来事	法律制定等	国・その他の出来事	栃木県の出来事
2008(平成20年)	会場設備を含め環境配慮が主要テーマの一つ 主要国首脳会議(洞爺湖サミット)開催	「生物多様性基本法」、省エネ法改正	国内排出量取引市場試行的開始	宇都宮、大田原でツキノワグマ捕獲 北関東道の栃木茨城間、12月開通へ
2009(平成21年)	グリーン・ニューディール政策のグローバル拡大	「水疾病被害者の救済及び水疾病問題の解決 に関する特別措置」 PM2.5環境基準決定	新型インフルエンザの流行(WHO 世界的パンデミック宣言)	宇都宮で新型インフルエンザ感染 確認
2010(平成22年)	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10) で名古屋議定書が採択	鳩山内閣 地球温暖化対策基本法案閣議決定 (2020年までに1990年比で25%削減)	熱中症死亡者多数 (岐阜県多治見市最高気温39.4℃)	県内13観測地点8月の平均気温過 去最高 キリン栃木工場歴史に幕
2011(平成23年)	東京電力福島第一原子力発電所津波爆発事故 計画(停電(関東地域)実施)	「放射性物質汚染対処特措法」 「原子力損害賠償支援機構法」	東日本大震災	原発事故放射能汚染 計画(停電実施 TECA10周年)
2012(平成24年)	原発一時稼働ゼロ(原発発電量、1970年以来 42年ぶりにゼロ)	「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進 に関する法律」(1968年食用油にPCB混入) 「FIT(固定買い取り制度)」開始	家庭用白熱電球の生産終了 東京スカイツリー開業(地下大容量 蓄熱システム地域循環)	宇都宮や小山など県内6観測地点 8月観測の真夏日過去最多
2013(平成25年)	福島第1原発汚染水が海へ流出	省エネ法改正	二ホンウナギ絶滅危惧種に指定 台風26号伊豆大島土石流災害	環境省が指定廃棄物最終処分場の 候補地を再選定
2015(平成27年)	パリ協定採択 国連総会2030アジェンダ採択 SDGs(持続可能な開発目標)	ISO14001規格改定	台風18号茨城県常総市鬼怒川堤防 決壊	県内広域水害発生 初の大雨特別警報
2016(平成28年)	パリ協定発効 伊勢志摩サミット	ZEB、ZEH補助金制度開始(ネット・ゼロ・エネル ギー・ビル、ハウス)	熊本地震	塩谷町指定廃棄物処分場候補地中止
2017(平成30年)	水銀に関する水俣条約発効	オオカ国内希少野生動物植物種(国内希少種) から指定解除	北海道胆振東部地震 九州北部豪雨	L R T 事業国が認定
2018(平成31年)	G7シャルルボワ・サミット「海洋プラスチック憲 章」採択(日本見送り) 国連気候変動枠組条約COP24ポーランド開催 IPCC「1.5℃特別報告書」発表	第四次循環型社会形成推進基本計画閣議決定 プラスチックストロー廃止の動き	日本最高気温41.4℃熊谷で記録 台風21号関西空港水没 北海道地震苫東厚真火力発電所が 停止ブラックアウト	8月県内記録的日照不足 コメ作況指数全国で唯一「不良」 佐野で県内観測史上最高の39.8℃記録 熱中症の救急搬送者数過去最多 宇都宮市次世代型路面電車事業国 の工事施行認可取得
2019(令和元年)	G20大阪サミット開催 国連機構行動サミット開催(ニューヨーク)	海洋プラスチック問題国際枠組み創設	九州地方4年連続豪による激甚災害 台風15号19号被害	日経SDGs先進度ランキング3位 SDGs未来都市に宇都宮選定 台風19号本県を直撃
2020(令和2年)	菅内閣「温室効果ガス2050年ゼロ宣言」脱炭 素社会へ 生物多様性条約愛知目標未達を発表	レジ袋有料化スタート	新型コロナウイルス感染拡大緊急 事態宣言発令 テレワーク普及 東京オリンピック延期	新型コロナウイルス感染拡大 渡良瀬遊水地で営業のコウノトリ 2羽ひな誕生
2021(令和3年)	カネミ油症次世代に健康調査全国規模で実施 COP15生物多様性次期世界目標採択予定	脱炭素化目標を法定化「地球温暖化対策推進 法の改正案」 自動車新車販売EV化へ	コロナ緊急事態宣言再発令 米国バイデン新大統領就任パリ協 定復帰	栃木県脱炭素化宣言 県内コロナ緊急事態宣言再発令 TECA20周年

編 集 後 記

会員の皆様、編集委員の皆様並びに寄稿頂いた皆様のご協力により、ここにNPO法人20周年記念誌を編集することが出来ましたこと、深く感謝申し上げます。

今回の記念誌は、平成23年発行の、NPO法人10周年記念誌の内容を踏まえ、TECAの歩みは事業別に担当理事等に記載をお願いしました。また、事業実施報告は、従来通り記載すると80ページを越えてしまうので令和元年度のみ記載とし、過年度の報告は年譜に事業内容を月別に記載する形を取りました。役員履歴と各種表彰受賞者一覧は、当初の任意団体時代から全てを整理して記載しました。これらを見る限りでは、この10年間の活動は充実していたことが理解されました。

(年譜取りまとめSaさんご苦労様でした。)また、TECAとともに環境社会の道標を最後に参考資料として入れることが出来ました。

20周年を迎えて、記念誌を編纂するだけでなく、記念講演や式典の開催などの事業も予定していましたが、ご案内の通り新型コロナの蔓延により、事業は中止せざるを得ませんでした。10年前の10周年の時は、東日本大震災と福島原発の放射能汚染の事件がありましたが、これらからの復興という観点で各種事業を展開することが出来たように思いますが、今回のコロナでは、TECA事業の多くが中止となり、今後の活動の在り方全般に渡って、問い直されていると思っています。

このような状況の中で、当協会としては、会員並びに関係機関と一体となって、SDGsの「17パートナーシップで、目標を達成する」を基本に、今出来ることを精一杯実践していくことが、大切なことと思っています。

この10年間では、森嶋啓司カウンセラーが亡くなりました。自然保護やペルーでの奮闘記等、お聞きしたいことが沢山あったのですが残念です。

最後に、これからもTECAが益々発展することを祈念し、共に頑張りましょう。

(編集委員：塩山房男、今井信行、塩野谷ふじ子、堀 誠、佐々木英治、曾我部二郎、
齊藤好広、野沢定雄、安場 博、岡田正幸)

編集・発行 NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会 (TECA)

連絡先：〒321-0117 栃木県宇都宮市城南3-2-9



TEL : 090-8022-6026

E-mail : higeshiyama@yahoo.co.jp

URL : <https://tecahp0419.bizmw.com>

